

例 言

- 本書は、埼玉県入間郡大井町内に所在する遺跡群の1999年度の発掘調査報告書である。
- 発掘調査および整理作業は、国庫（3,600,000円）、県費（1,800,000円）の補助金の交付を受け、平成11年4月5日から平成12年3月31日まで実施した。
- 調査組織

調査主体者	大井町教育委員会	文化財保護係長	坪田幹男
担当課	生涯学習課文化財保護係	文化財保護係・庶務	高橋偕子
教育長	遠藤正明	文化財保護係・発掘調査担当者	高崎直成・鍋島直久
教育次長	石井忠夫	大井町臨時職員・発掘調査担当者	土本医
生涯学習課長	金子忠弘		
- 本書作成にあたっての作業分担は次のとおりである。

編集：鍋島直久
 執筆：本文・遺構 鍋島直久、縄文土器 今井堯
 挿図割付：高橋けい子 写真図版割付：青山奈保美 土器・陶磁器復元：中田藤子 表作成：植田勢津子
 土器・陶磁器実測：青山奈保美、石垣ゆき子、植田勢津子、須藤さち子、丹治つや子 トレース：小林登喜江
 土器拓影・図版作成：青山奈保美、石垣ゆき子、植田勢津子、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子、中田藤子、山口妙子
 遺構写真：坪田幹男、高崎直成、鍋島直久、土本 医 遺物写真：鍋島直久、青山奈保美
 土器・石器実測の一部を（有）JAWSに委託した。
 また、整理作業全般において日本考古学協会の今井堯氏の援助と協力を得た。
- 各遺跡の調査から報告書刊行にいたるまで下記の諸氏・機関より御指導・ご協力を賜った。（敬称略）
 会田昭明、天ヶ嶋岳、荒井幹夫、石原聡、市丸靖子、内田賢司、岡田憲治、加藤智香子、加藤秀之、梶原勝、
 梶原喜世子、神木繁嘉、國見徹、隈本健介、小出輝雄、駒井和久、桜井信枝、笹森健一、佐藤啓子、島田一郎、
 鈴木仁子、高貝しづ子、高橋京子、田中信、塚田政子、原口雅樹、早坂廣人、松本新八郎、松本富雄、水村孝行、
 柳井章宏、柳沢健司、和田晋治
 埼玉県教育局生涯学習部文化財保護課、東久保土地区画整理組合、大井町立郷土資料館、大井町遺跡調査会、
 （有）文化財COM。
- 発掘調査ならびに整理作業参加者は下記の皆様である。記して厚く感謝の意を表したい。
 〈発掘調査参加者〉（敬称略）
 新井和枝、飯塚泰子、井上晴江、海老原サナエ、大曾根キク子、笠原英子、金子君子、金丸文男、小林こずい、
 酒井昭、佐久間ひろ子、佐藤恵二、篠崎忠三、鈴木英子、鈴木エミ子、関田成美、戸澤竹二、中嶋末子、
 野岡由紀子、林きぬ子、比嘉洋子、福田三枝子、三村美代子、若尾久美子、若林紀美代
 〈整理作業参加者〉（敬称略）
 青山奈保美、石垣ゆき子、伊藤弘一、植田勢津子、小林登喜江、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子、
 中田藤子、福島雅子、山口妙子

凡 例

- 本書の遺構・遺物挿図の指示は以下のとおりである。
 - 縮尺は原則として
 遺構配置図 1：300 遺構平面図・遺物出土状況図 1：60、1：30 炉などの詳細図 1：30
 土器実測図 1：4 土器拓影図 1：3 石器実測図 1：3、2：3 銭 1：1
 - 遺構断面図の水糸高は海拔高を示す。明記していないのは同図版中の前遺構の海拔高に同じ。
 - 遺構図におけるscreen-toneの指示、遺物出土状況のドットの指示。
 攪乱  地山（ローム）  焼土 
 土器 ● 石器 ★ 黒曜石・チャート ▲ 礫 ○
 - 土器断面図は、「網目」が繊維含有、●が雲母粒を含有する縄文土器を表わしている。
 - 土器・陶磁器実測図の中心線が破線の場合は、180度回転させて復元実測したことを示す。
- 住居跡名は、遺跡内の通し番号である。
- 本報告にかかる出土品及び記録図面・写真等は一括して大井町教育委員会生涯学習課に保管してある。

第2表 1999年度埋蔵文化財調査一覧表

	遺跡名	申請地	調査面積㎡	開発面積㎡	原因	調査期間	調査措置
1	亀居遺跡第51地点	亀久保3街区4画地	202	222	個人住宅	11.6.15~11.7.9	教育委員会で本調査
2	亀居遺跡第52地点	亀久保7街区14画地	30	121	個人住宅	12.2.1~12.2.2	試掘調査
3	江川南遺跡第10地点	東久保2街区9・10画地	18	133	個人住宅	11.5.24~11.5.26	試掘調査
4	江川南遺跡第11地点	東久保1—122—2・4	150	465	共同住宅	11.9.20~11.9.27 11.9.28~11.10.15	試掘調査後遺跡 調査会で本調査
5	江川南遺跡第12地点	東久保2街区4・5画地	14	104	個人住宅	11.10.26~11.10.28	試掘調査
6	東久保遺跡第13地点	東久保381—5	10	162	個人住宅	11.11.2	試掘調査
7	東久保遺跡第14地点	東久保18街区3画地	330	823	共同住宅	11.6.29~11.7.16 11.7.19~11.7.29	試掘調査後遺跡 調査会で本調査
8	東久保遺跡第15地点	東久保5街区14~16画地	9	178	個人住宅	11.8.2	試掘調査
9	東久保遺跡第16地点	東久保15街区1~5・32画地	132	334	個人住宅	11.10.1~11.10.6	試掘調査
10	東久保遺跡第17地点	東久保381—5	121	168	個人住宅	11.6.14~11.6.15	試掘調査
11	東久保遺跡第18地点	東久保27街区2画地	409	14,989	小学校グラウンド	11.11.30~11.12.15	試掘調査
12	東久保遺跡第19地点	東久保3街区9・10画地	40	108	店舗併用住宅	11.12.20~11.12.21	試掘調査
13	東久保遺跡第20地点	東久保4街区9画地	234	478	個人住宅	12.2.28~12.3.3	試掘調査
14	東久保遺跡第21地点	東久保18街区14画地	57	114	個人住宅	12.3.23~12.3.28	試掘調査
15	東久保遺跡第22地点	東久保15街区28画地	38	150	個人住宅	12.3.22~12.3.23	試掘調査
16	亀久保堀跡遺跡第21地点	東久保262・263・266	89	232	個人住宅	11.4.19~11.4.22	試掘調査
17	亀久保堀跡遺跡第22地点	東久保5街区7・20画地	40	99	個人住宅	11.6.10~11.6.12	試掘調査
18	亀久保堀跡遺跡第23地点	東久保14街区10画地	260	386	駐車場	11.10.4~12.10.8	試掘調査
19	亀久保堀跡遺跡第24地点	東久保6街区14画地	26	105	個人住宅	11.12.14~11.12.16	教育委員会で本調査
20	東久保西遺跡第8地点	東久保9街区13画地	52	135	個人住宅	11.11.2~11.11.5	試掘調査
21	東久保西遺跡第9地点	東久保14街区1・2・12画地	335	1,074	共同住宅	12.1.28~12.2.9	試掘調査
22	東中学校西遺跡第20地点	東久保39街区1画地	461	900	区画整理	11.6.16~11.7.19	試掘調査
23	東中学校西遺跡第21地点	東久保37街区1~3画地	733	1,311	店舗	11.11.18~11.12.9	試掘調査
24	東中学校西遺跡第22地点	東久保44街区15画地	56	150	個人住宅	12.3.7~12.3.9	試掘調査
25	東久保南遺跡第18地点	東久保48街区4画地	95	202	個人住宅	11.5.14~11.5.18	試掘調査
26	東久保南遺跡第19地点	東久保60街区6画地	188	466	駐車場	11.7.8~11.7.12	試掘調査
27	東久保南遺跡第20地点	東久保49街区1画地	367	1、106	店舗	11.12.22~12.1.15	試掘調査
28	西ノ原遺跡第113地点	大井苗間57・58街区	2,000	2,817	店舗	11.4.5~11.12.14 12.1.6~12.3.13	試掘調査後遺跡 調査会で本調査
29	西ノ原遺跡第114地点	西ノ原194—1	272	676	駐車場	11.8.4~11.8.12	試掘調査
30	西ノ原遺跡第115地点	大井苗間52街区3画地	31	135	事務所	11.9.27~11.9.29	試掘調査
31	西ノ原遺跡第116地点	大井苗間59街区11画地	42	119	個人住宅	11.12.2~11.12.3	試掘調査
32	西ノ原遺跡第117地点	大井苗間199—2番地	42	131	店舗併用住宅	11.12.2~11.12.4	試掘調査
33	中沢前遺跡第18地点	大井苗間1丁目12番地	110	620	店舗併用共同住宅	11.7.21~11.7.28	試掘調査
34	中沢前遺跡第19地点	大井苗間32街区1・9画地	360	1,080	共同住宅	11.7.23~11.7.30	試掘調査
35	中沢前遺跡第20地点	大井苗間33街区1画地	231	374	駐車場	11.11.25~11.11.30	試掘調査
36	中沢前遺跡第21地点	大井苗間32街区4・5画地	19	120	個人住宅	11.11.29~11.11.30	試掘調査
37	神明後遺跡第10地点	苗間298—1	3	44	個人住宅	11.9.16	試掘調査
38	神明後遺跡第11地点	苗間366	97	239	個人住宅	11.10.21 11.10.22~11.10.26	試掘調査後教育 委員会で本調査
39	神明後遺跡第12地点	苗間282—2・5	8	211	共同住宅	12.3.6	試掘調査
40	苗間東久保遺跡第21地点	苗間神明後333—1	95	350	個人住宅	11.8.3~11.8.6	試掘調査
41	浄禅寺跡遺跡第18地点	苗間345—3・4	303	599	個人住宅	11.5.26~11.6.24 11.6.26~11.8.3	試掘調査後教育 委員会で本調査

X 中沢前遺跡の調査

1 遺跡の立地と環境

中沢前遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の南約200m、さかい川の谷頭部から約700m下った右岸、標高17～18mに位置する。西側には西ノ原遺跡が隣接し、さかい川を挟んで北側に富士見市中沢遺跡が位置する。

2001年3月現在、22ヵ所で調査しているが、これまでの調査で確認されたのは縄文時代とみられる土坑とピット、遺物は縄文時代前期の黒浜式と中期の加曽利E式の土器片が遺構外から出土しているがごく僅かであり、遺跡の範囲については未だ確定していない。

2 中沢前遺跡第18地点

(1) 調査の概要

調査は店舗付共同住宅建設に伴うもので、原因者より「埋蔵文化財事前協議書」が1999年7月1日付けで町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の西部に位置し西ノ原遺跡と隣接する部分であるため、遺跡範囲と遺構の存在確認のため試掘調査を実施することとした。

調査は7月21日から調査区の東西方向に幅約2mのトレンチを3本設定した。トレンチは約1.5m掘り下

げたが天地返しによる盛土が厚さ約1mあり、その下から黒色土層が確認されたが地山のローム層までは確認できなかった。黒色土層中で遺構と遺物が確認されなかったため、7月28日調査を終了した。

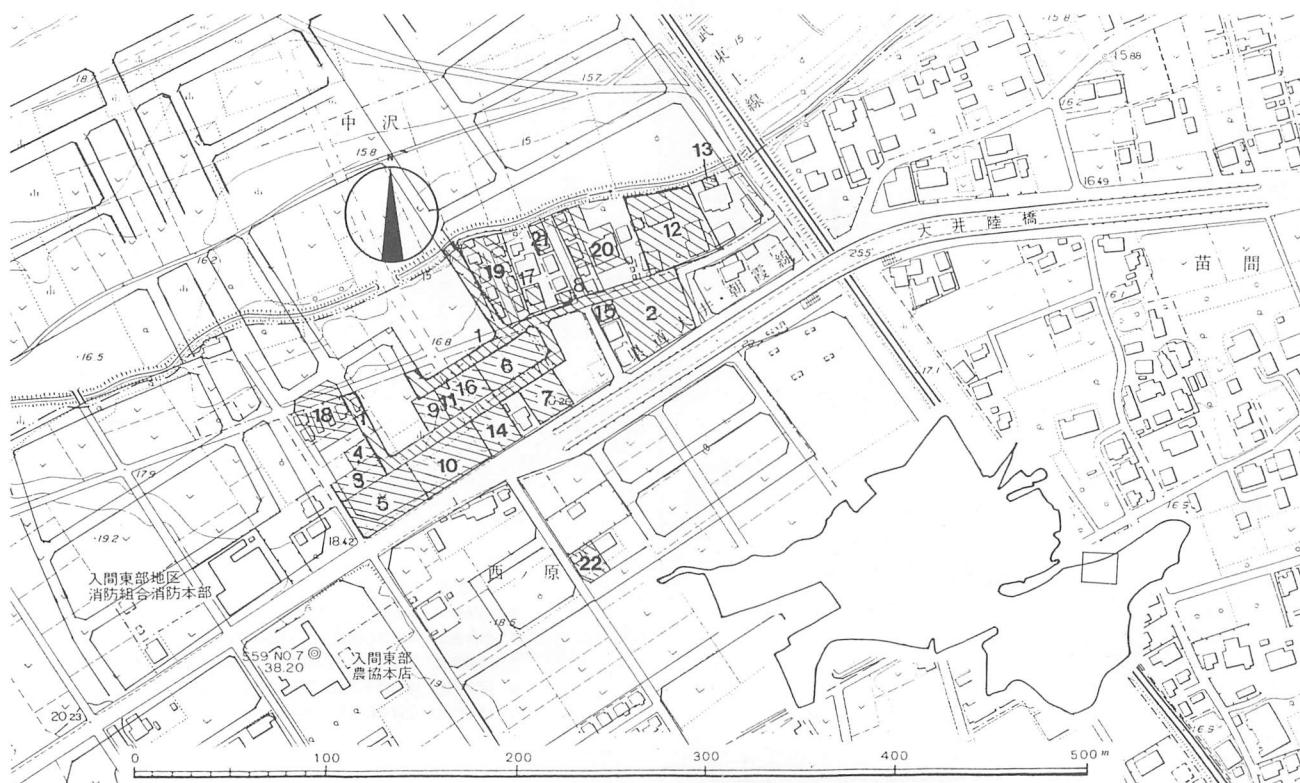
3 中沢前遺跡第19地点

(1) 調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より「埋蔵文化財事前協議書」が1999年7月5日付けで町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央部に位置し、北側のさかい川に向かって傾斜する。申請者と協議の結果、遺構の存在確認のため試掘調査を実施することとした。

調査は7月23日から調査区の南北方向に幅約2mのトレンチを5本設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行い縄文時代の土坑1基を検出し、7月30日調査を終了した。

土坑の平面形態は不整形を呈し底部は凹凸がみられる。規模は上端2.74×2.48m、底径1.04×2.04、深さは確認面から1mを測る。



第41図 中沢前遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

4 中沢前遺跡第20地点

(1) 調査の概要

調査は駐車場造成に伴うもので、原因者より1999年10月21日付けで、「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の東部に位置するため遺構確認の試掘調査を実施することとした。

調査区に幅約2mのトレンチを6本設定し、11月25日から重機による表土除去の後、人力による調査を行った。試掘調査の結果、中世以降とみられる堀、溝、ピットなどの遺構を確認し一部を検出したが、開発が駐車場であり遺構確認面まで30cm以上保護層が確保できるため、11月30日調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

堀はトレンチ1の北端で検出した。上幅約2.2m、下幅約1.5mで段を有して北側が深く、最深部で確認面から94.4cmを測る。

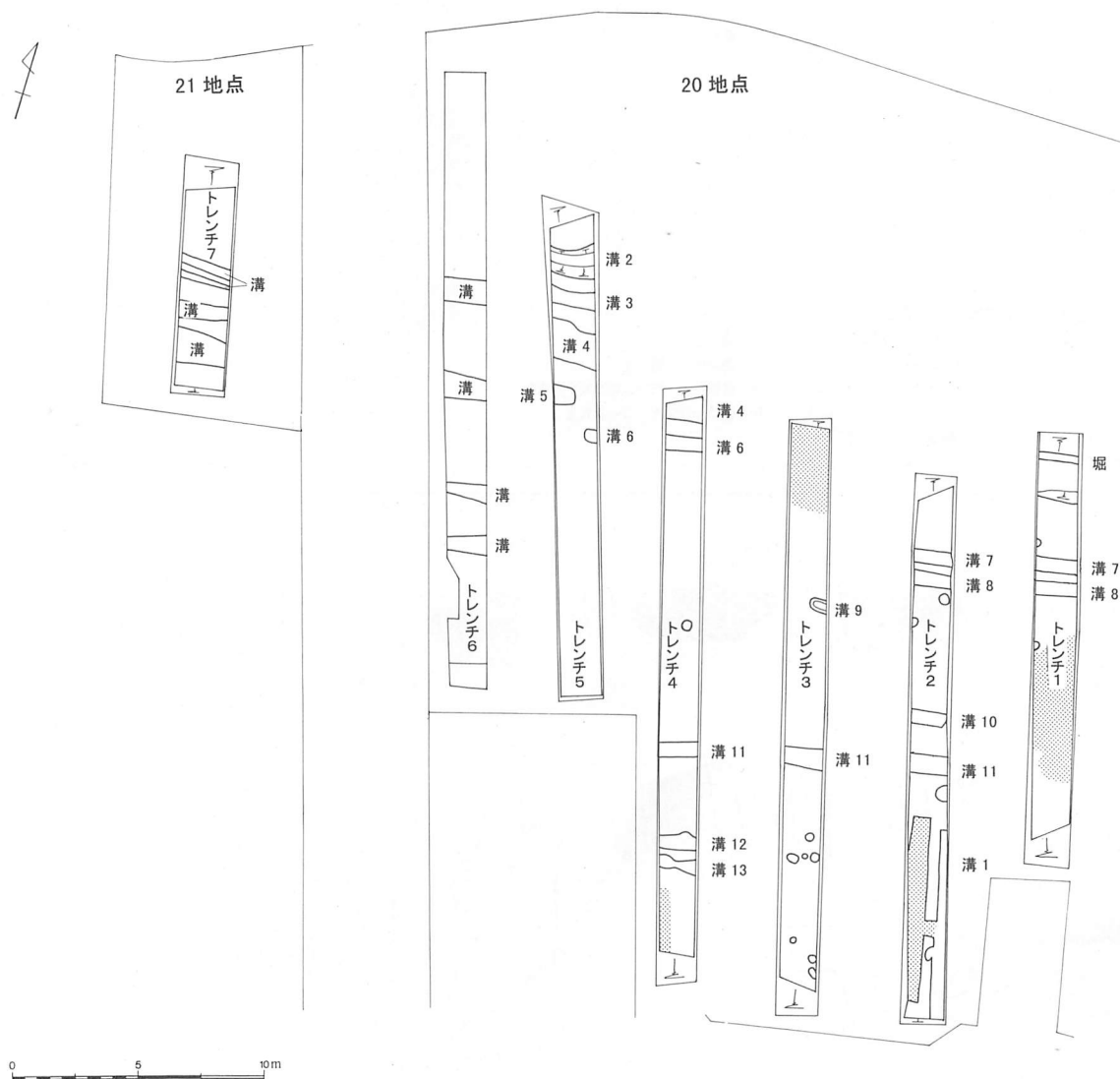
溝はトレンチ内でプランだけ13本を確認し、ピットは溝1内で1基を検出した。遺物は1～6は縄文土器片、7は土器片、8は播鉢片、9・10は瓦、11はガラス瓶である。

5 中沢前遺跡第21地点

(1) 調査の概要

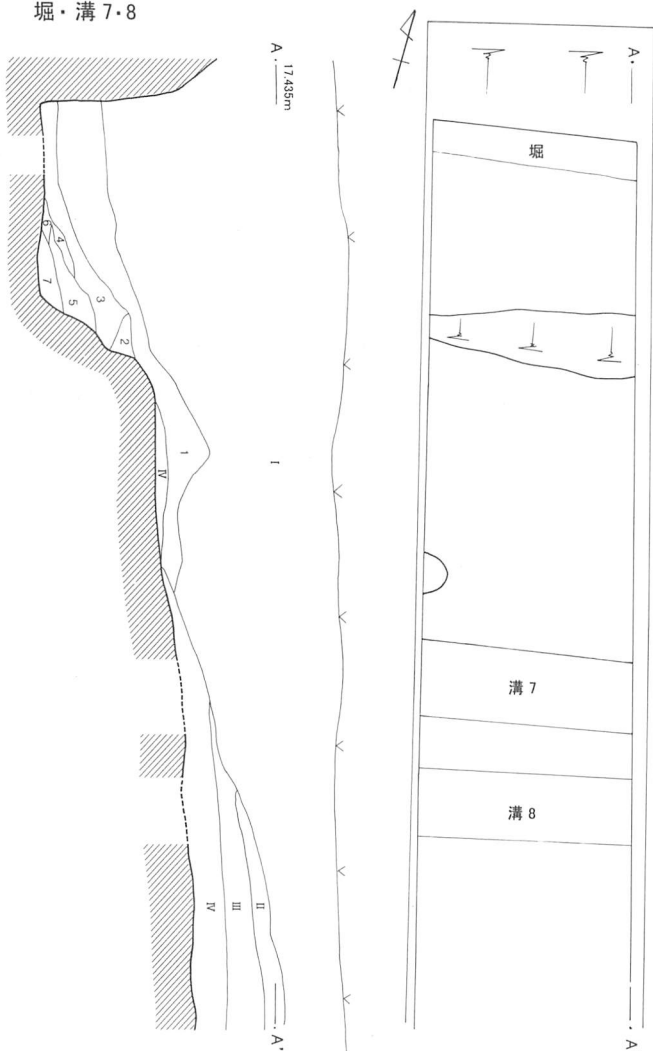
調査は、個人住宅建設に伴うもので、原因者より1999年11月1日付けで、「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は第20地点に隣接するため、遺構確認の試掘調査を第20地点の調査に継続して実施することとした。

調査区に幅約2mのトレンチを3本設定し、11月29日から重機による表土除去の後、人力による調査を行ったが、遺構は確認されなかったため、11月30日調査を終了した。



第43図 中沢前遺跡第20・21地点調査区域図 (1/300)

堀・溝 7・8

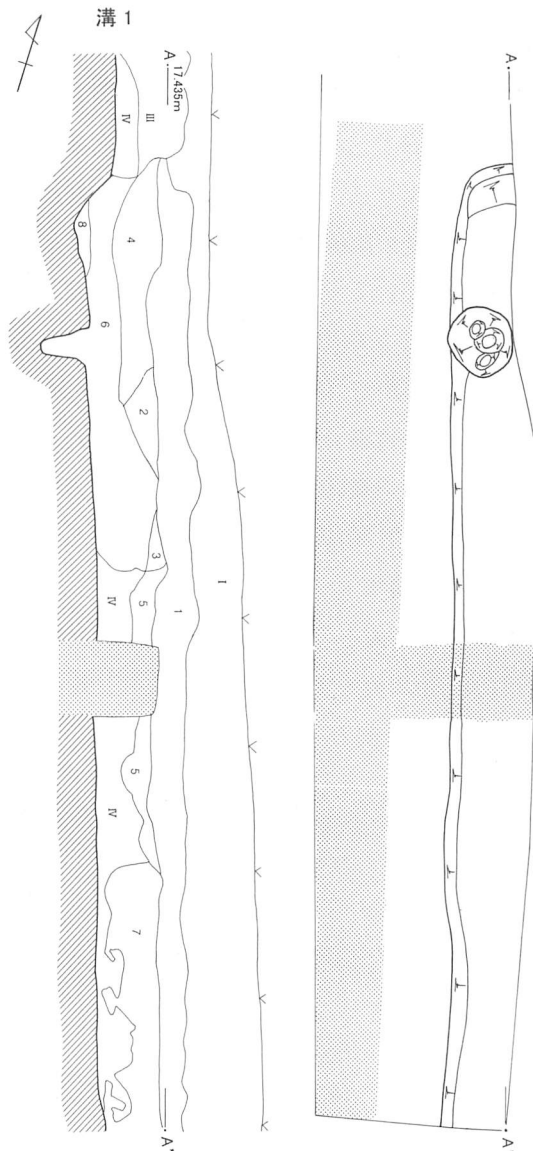


堀

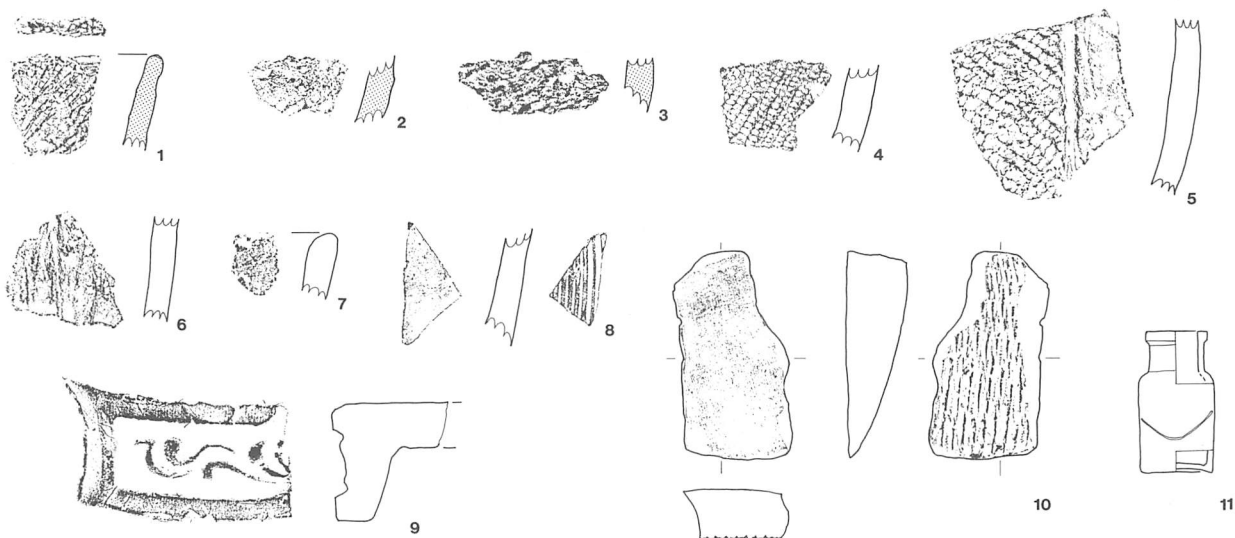
1. 黒色土+茶褐色土 下層に茶褐色土多く含む
2. 黒色土+黄褐色土 黒色土とソフトロームの混合
3. 黒茶褐色土 ソフトローム少し含む
4. 暗褐色土 ソフトローム崩落土
5. 黒色土 黒色土
6. 暗褐色土 ソフトローム崩落土
7. 黄褐色土+黒色土 上部と下部はハードローム土

- I. 盛土
- II. 黄褐色土 盛土
- III. 黒褐色土 ローム粒を極少し含む
- IV. 極暗赤褐色土 ローム質土

溝 1



0 0.5 1 1.5 2m



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10cm

第44図 中沢前遺跡第20地点堀・溝・ピット (1/60) ・出土遺物 (1/3)



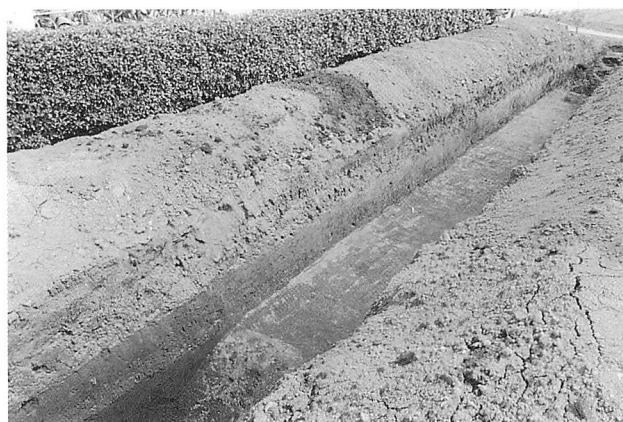
西ノ原遺跡第115地点試掘トレンチ2



西ノ原遺跡第116・117地点試掘近景



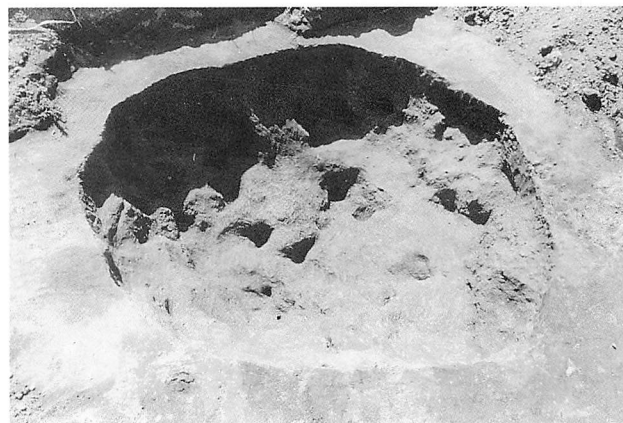
中沢前遺跡第18地点試掘近景



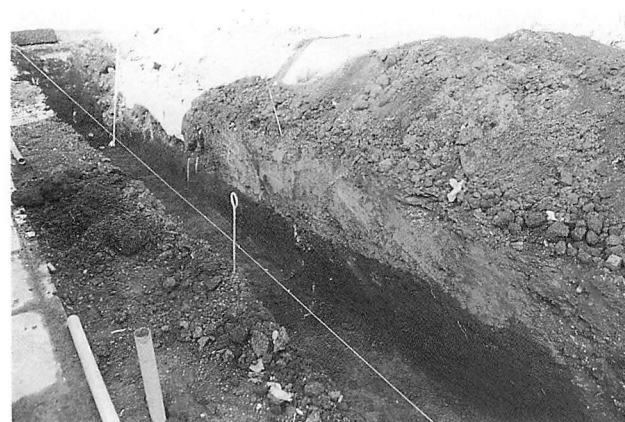
中沢前遺跡第18地点試掘トレンチ1土層



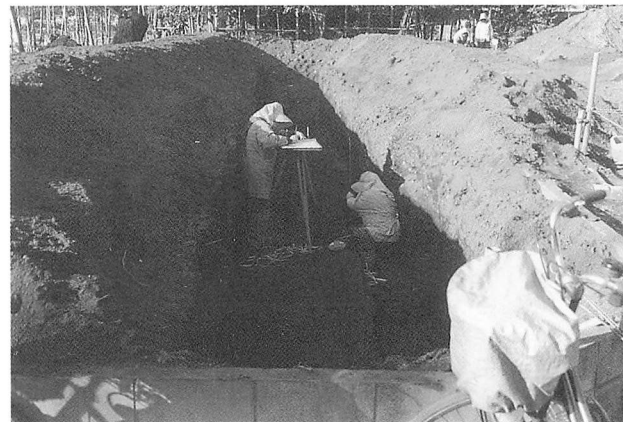
中沢前遺跡第19地点試掘トレンチ5



中沢前遺跡第19地点土坑



中沢前遺跡第20地点試掘トレンチ6土層



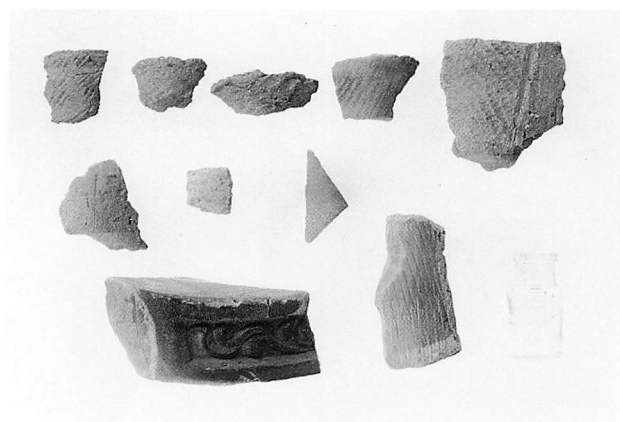
中沢前遺跡第20地点試掘調査風景



中沢前遺跡第20地点試掘溝 9



中沢前遺跡第20地点試掘トレンチ 6



中沢前遺跡第20地点出土遺物



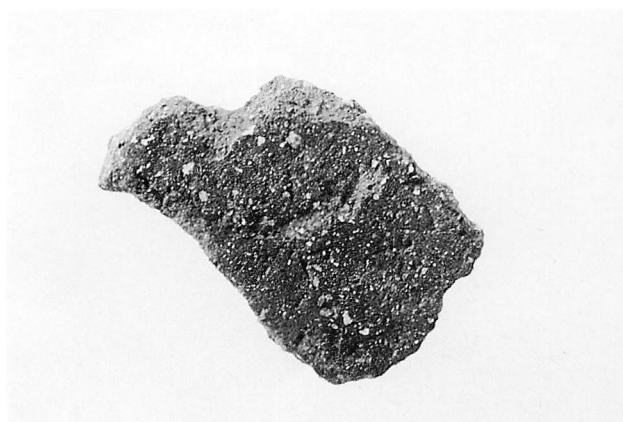
中沢前遺跡第21地点試掘トレンチ全景



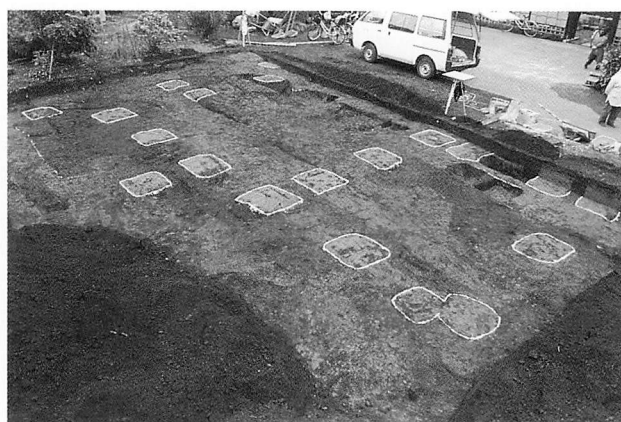
神明後遺跡第10地点近景



神明後遺跡第10地点試掘トレンチ全景



神明後遺跡第10地点出土遺物



神明後遺跡第11地点試掘・既存建物跡

(株)東京航業研究所、(有)文化財 COM

6. 発掘調査ならびに整理事業参加者は下記の皆様である。特に、大井氏館跡遺跡第14地点の調査にあたっては富士見市教育委員会ならびに同市作業員の方々に多大な協力を頂いた。また、江川南遺跡第19地点の調査にあたっては上福岡市教育委員会ならびに同市作業員の方々に多大な協力を頂いた。記して厚く感謝の意を表したい。

〈発掘調査参加者〉(敬称略)

新井和枝、飯塚泰子、井上晴江、内田潔、大曾根キク子、笠原英子、加藤智香子、金子君子、小林こずい、河野匠、河野格、酒井昭、佐久間ひろ子、篠崎忠三、鈴木英子、鈴木エミ子、鈴木勝弘、関田成美、高貝しず子、戸澤竹二、中嶋末子、野岡由紀子、林きぬ子、比嘉洋子、増沢勝実、村端和樹、若尾久美子、若林紀美代

(富士見市教育委員会) 飯田久子、上田寛、川上文明、佐々木真理子、島田仁、清水七枝、関根輝子、高野ナミ、塚本政勝、戸田美根子、富田茂夫、中川和弘、成田淑美、成田良一、羽田美代子、吉田信江

(上福岡市教育委員会) 長田弘毅、壺岐ヒサ子、井川弘、宇佐美弘澄、遠藤忠志、小田静夫、小野沢保孝、菊口繁子、西城満期子、鈴木ちい、滝沢久嘉、富寺佐代子、中村正、宮崎達夫、吉田寛

〈整理事業参加者〉(敬称略)

青山奈保美、石垣ゆき子、大久保明子、小林登喜江、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子、中田藤子、福島雅子、山口妙子

凡 例

1. 本書の遺構・遺物挿図の指示は以下のとおりである。

(1) 縮尺は原則として

遺構配置図 1 : 300 遺構平面図・遺物出土状況図 1 : 60、1 : 30 炉などの詳細図 1 : 30
土器実測図 1 : 4 土器拓影図 1 : 3 石器実測図 1 : 3、2 : 3 銭 1 : 1

(2) 遺構断面図の水糸高は海拔高を示す。明記していないのは同図版中の前遺構の海拔高に同じ。

(3) 遺構図における screen-tone の指示、遺物出土状況のドットの指示。

攪乱  地山(ローム)  焼土 
土器 ● 石器★ 黒曜石・チャート▲ 礫○

(4) 土器実測図における screen-tone の指示。

地文縄文  撚糸文 

(5) 土器断面図は、「網目」が繊維含有、●が雲母粒を含有する縄文土器を表わしている。

2. 住居跡名は、遺跡内の通し番号にしている。

3. 本報告にかかる出土品及び記録図面・写真等は一括して大井町教育委員会生涯学習課に保管してある。

XIV 中沢前遺跡の調査

1 遺跡の立地と環境

中沢前遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の南約200m、さかい川の谷頭部から約700m下った右岸、標高17～18mに位置する。本遺跡の西側には西ノ原遺跡が接し、さかい川を挟んで北側には富士見市中沢遺跡がある。

2005年3月現在、25地点で調査しているが、これまでの調査で確認されたのは縄文時代とみられる土坑とピットのみで、遺物は縄文時代前期の黒浜式と中期の加曽利E式の土器片が遺構外から出土しているがごく僅かであり、遺跡の範囲については未だ確定していない。

2 中沢前遺跡第20地点

(1) 調査の概要

調査は老人介護施設建設に伴うもので、2003年1月20日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は1999年に駐車場敷設に伴い試掘調査済みだが、新たな開発で追加された敷地の未調査部分を対象として遺構確認の試掘調査を実施した。

試掘調査は2003年2月3日から同年2月5日まで行

なった。幅約2mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なったが、遺構・遺物は確認されなかった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ない、調査を終了した。

本調査は2003年4月7日から同年6月3日まで、大井町遺跡調査会が行ない、近世の地下室、溝、土坑等を検出した。(大井町遺跡調査会で報告書刊行予定)

3 中沢前遺跡第24地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2003年2月3日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の西端に位置しているため、原因者と協議の結果、遺跡の範囲と遺構確認の試掘調査を実施した。

調査は2003年2月7日から同年2月23日まで行なった。幅約2mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なった結果、土地境の溝を検出した。確認面まで30cmを測る。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ない調査を終了した。

4 中沢前遺跡第25地点の調査

(1) 調査の概要

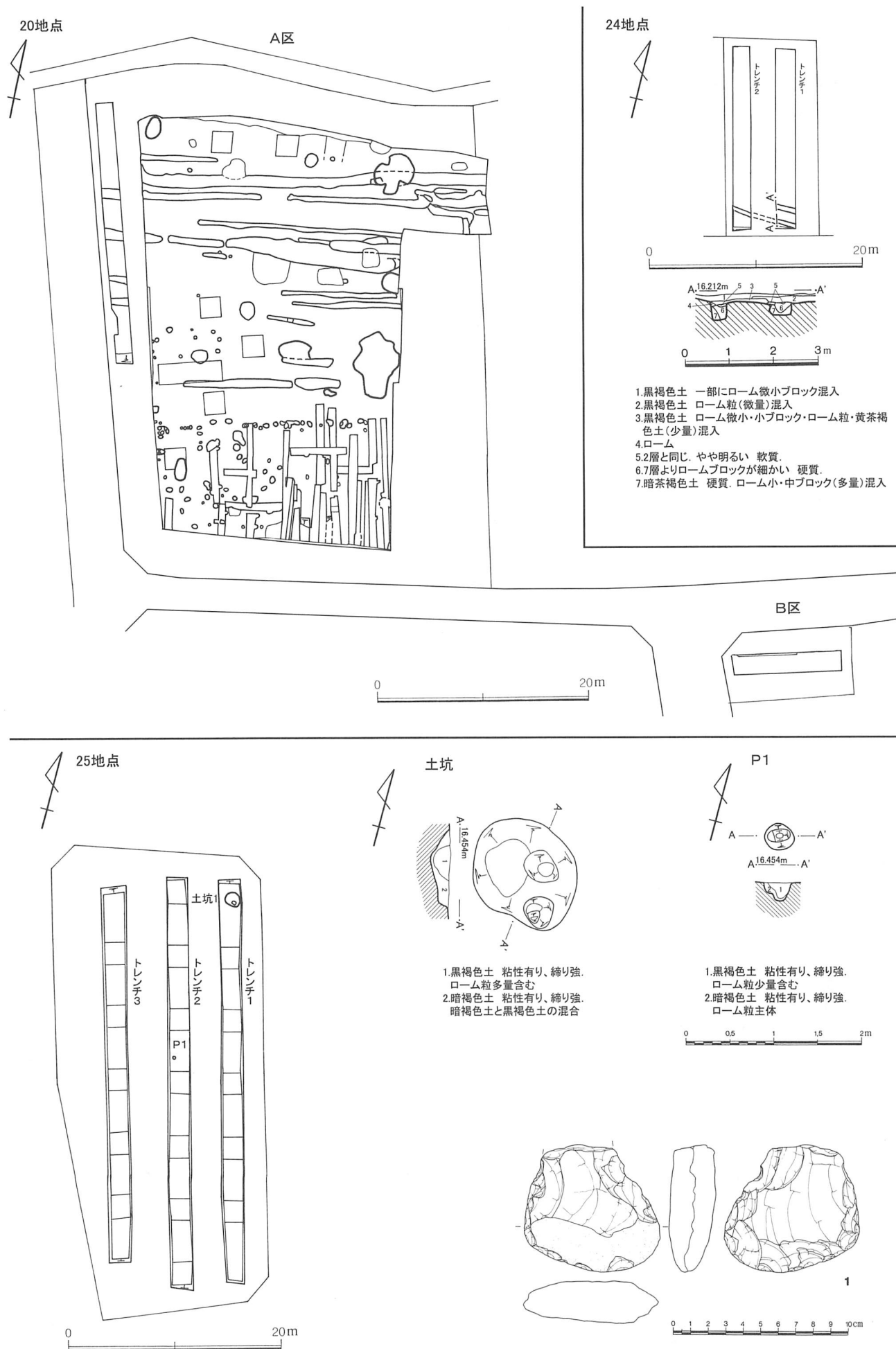
調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より2004年3月13日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央に位置しているため、協議の結果、遺構確認の試掘調査を実施した。

調査は2004年6月4日から同年6月10日まで行なった。幅約2mのトレンチ4本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なった結果、遺構を検出した。土坑は平面135×115cm、深さ21cm。ピットは平面34×31cm、深さ26cmを測る。さらに旧石器時代調査のため2×2mのグリッドを17ヶ所設定し深掘りしたが、遺構、遺物の検出はなかった。確認面まで60cmを測る。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ない調査を終了した。

【出土遺物】1は打製石斧で基部が欠ける。安山岩製。長さ6.9×幅7.5×厚さ2.4cm、重さ160.1gを測る。



第60図 中沢前遺跡の地形と調査区 (1/4,000)



第61図 中沢前遺跡第20・24・25地点遺構配置図(1/500)、土層(1/120)、土坑、ピット(1/60)、出土石器(1/3)



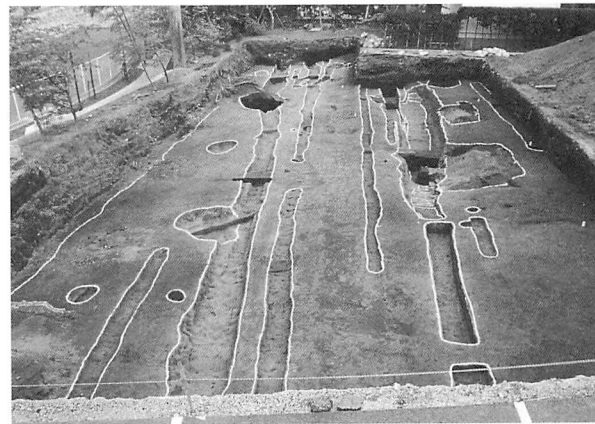
西ノ原遺跡第130地点試掘調査



西ノ原遺跡第131地点試掘調査



中沢前遺跡第20地点試掘調査



中沢前遺跡第20地点調査南側



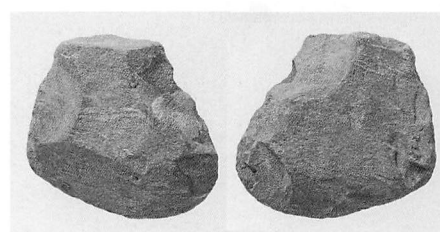
中沢前遺跡第20地点本調査北側



中沢前遺跡第24地点試掘調査



中沢前遺跡第25地点試掘調査



中沢前遺跡第25地点出土石器



中沢前遺跡第20地点調査区北側（西から）



中沢前遺跡第20地点調査区南側（北から）

理 事	木村常次	(大井町都市整備課課長補佐)	平成14年7月1日～平成16年6月30日
	佐藤啓子	(大井町文化財保護審議委員)	平成14年7月1日～平成21年9月30日
	高山 稔	(大井町企画財政課課長補佐)	平成15年4月1日～平成16年3月31日
	飯塚泰子	(ふじみ野市臨時的任用職員)	平成15年4月1日～平成21年9月30日
	松澤和喜	(大井町都市整備課課長補佐)	平成16年4月1日～平成17年3月31日
	細谷孝之	(大井町企画財政課課長補佐)	平成16年4月1日～平成17年9月30日
	福馬 晃	(大井町都市整備課課長補佐)	平成17年4月1日～平成17年9月30日
	比嘉洋子	(ふじみ野市文化財保護審議会委員)	平成17年10月1日～平成21年9月30日
監 事	塩野賀一	(大井町文化財保護審議委員)	平成15年4月1日～平成21年9月30日
	雪平正雄	(大井町会計課長)	平成16年7月1日～平成17年3月31日
	馬場建次	(大井町会計課長)	平成17年4月1日～平成17年9月30日
	近藤 朗	(ふじみ野市出納室主幹)	平成17年10月1日～平成19年3月31日
	坂田秀樹	(ふじみ野市副参事兼会計管理者)	平成19年4月1日～平成21年3月31日
事務局	鈴木 良	(ふじみ野市副参事兼会計管理者)	平成21年4月1日～平成21年9月30日
	事務局長	金子忠弘 (大井町生涯学習課長、ふじみ野市生涯学習課長)	
			平成12年4月1日～平成17年12月31日
		原田 昇 (ふじみ野市副参事兼生涯学習課課長)	平成18年1月1日～平成20年3月31日
		田中節子 (ふじみ野市生涯学習部次長兼生涯学習課長)	平成20年4月1日～平成21年3月31日
		綾部 誠 (ふじみ野市生涯学習部次長兼生涯学習課長)	平成21年4月1日～平成21年9月30日
	事務局次長	坪田幹男 (大井町生涯学習課文化財保護係長)	平成15年4月1日～平成16年3月31日
		(ふじみ野市生涯学習課文化財保護係長)	平成19年4月1日～平成21年9月30日
		上田範文 (大井町生涯学習課文化財保護係長)	平成16年4月1日～平成17年3月31日
		島田喜吉 (大井町生涯学習課文化財保護係長)	平成17年4月1日～平成17年9月30日
事務局員		高崎直成 (ふじみ野市生涯学習課文化財保護係)	平成1年4月1日～平成21年9月30日
		鍋島直久 (ふじみ野市生涯学習課文化財保護係)	平成3年4月1日～平成21年9月30日
		神木よし美 (大井町生涯学習課文化財保護係)	平成15年4月1日～平成17年3月31日
		高橋京子 (平成17年10月1日よりふじみ野市教育委員会臨時任用職員)	平成11年5月13日～平成21年9月30日

凡 例

1. 本書の遺構挿図の指示は以下のとおりである。

- (1) 縮尺はその都度図中に示している。
- (2) 遺構断面図の水糸高は海拔を示す。
- (3) 遺構図における screen-tone の指示は以下のとおりである。また、遺物出土状況のドットの指示はその都度図中に示している。



地 山



攪 乱



焼 土



遺 物



石



炭化物・層

2. 本書の遺物挿図の指示は以下のとおりである。

- (1) 遺物番号は地点ごとに1からはじまる。
- (2) 土器・陶磁器実測図中における遺物の中心線上の▼印は反転実測を表す。また、断面図の細い▲印は釉ハギ部分を示す。

3. 本報告にかかる出土品及び記録図面・写真等は一括してふじみ野市教育委員会生涯学習課に保管してある。

第2章 中沢前遺跡の調査

1 遺跡の立地と環境（第3図、第2表）

中沢前遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の南約200m、さかい川の谷頭部から約700m下った右岸、標高17～18mに位置する。本遺跡の西側には西ノ原遺跡が隣接し、さかい川を挟んで北側には富士見市中沢遺跡がある。

2009年6月現在、26ヶ所で調査しているが、これまでの調査で確認されたのは、旧石器時代（立川ローム層Ⅳ～Ⅲ層上面）の石器集中1ヶ所と、縄文時代とみられる土坑とピット、中・近世の土坑・地下室・溝である。縄文時代の遺物は前期の黒浜式と中期の加曾利E式の土器片が遺構外から出土しているがごく僅かである。中・近世の遺構からは陶磁器等が出土しており、その中に須恵器片等が含まれており、既期の遺構の存在も予想されるが、遺跡の範囲や内容については未だ確定していない。



第3図 中沢前遺跡の地形と調査区（1/4,000）

2 中沢前遺跡第20地点（第4図）

(1) 調査の概要

調査は老人介護施設建設に伴うもので、1999年11月に行なった駐車場敷設に伴う試掘調査と、2003年2月3日から2月5日に行なった試掘調査の結果に基づき申請者と協議した結果、開発の変更ができないため、原因者負担による本調査を実施することになった。

本調査は2003年4月7日から開始した。調査区を南北に分割し、北側を4月28日まで、南側を4月30日から6月3日まで調査した。表土を重機により除去し、人力による表面精査で遺構範囲を確認した。調査区内には5m方眼のグリッドを設定し杭打ちを行なった。遺構調査は人力で覆土を除去しつつ出土遺物を残し、土層図・遺構平面図・調査区域図を平板測量と遣り方測量で実測し、写真撮影を行ない、調査を終了した。

検出した遺構は旧石器時代の石器群1ヶ所、縄文時代の落し穴1基、集石1基、土坑4基、近世以降の地下室2基、溝9条、溝状遺構41基、土坑4基、ピット105基、柵列2列である。

第2表 中沢前遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	報告書
1	苗間184-1, 189-3	1990. 8. 28～10. 18	1,155	道路築造	土坑4・ピット13	西ノ原遺跡
2	苗間221-3	1991. 3. 14～3. 18	1,333	個人住宅	縄文前期土器	町内Ⅰ
3	苗間189-3	1992. 10. 1～10. 2	272	個人住宅	なし	町内Ⅱ
4	苗間201-2	1992. 11. 13～11. 20	168	個人住宅	土坑1	町内Ⅱ
5	苗間184-1	1993. 2. 13～2. 18	732	駐車場造成	なし	町内Ⅱ
6	苗間202-1	1993. 4. 23～4. 26	506	個人住宅	土坑1・縄文前期土器	町内Ⅲ
7	苗間202-1, -3	1993. 11. 26～11. 29	687	駐車場造成	なし	町内Ⅲ
8	苗間206-2	1993. 2. 3～2. 4	137	事務所建設	根切溝	町内Ⅲ
9	苗間190	1995. 8. 23～8. 24	222	個人住宅	土坑1	町内Ⅴ
10	苗間185-1	未調査	174			
11	苗間191-1	1996. 11. 12	155	個人住宅	なし	町内Ⅵ
12	苗間221	1996. 12. 18～12. 20	1,323	個人住宅	縄文落穴1	町内Ⅵ
13	苗間1-7-15	未調査				
14	苗間191-1, -4	1997. 2. 26～3. 2	310	店舗	なし	町内Ⅶ
15	苗間1-9-1	1998. 7. 13	109	個人住宅	なし	町内Ⅶ
16	苗間1-11-4, 5	1999. 3. 11～3. 15	482	共同住宅	なし	町内Ⅷ
17	苗間1-6-2	1999. 3. 11～3. 15	165	個人住宅	なし	町内Ⅷ
18	苗間1-12	1999. 7. 21～7. 28	110	店舗併用共同住宅	なし	町内Ⅸ
19	苗間1-6-1, -9	1999. 7. 23～7. 30	360	共同住宅	縄文土坑1	町内Ⅸ
20	苗間1-7-1	2003. 4. 7～6. 3	231	共同住宅	旧石器（石器群1）、縄文（落し穴1・集石1・土坑4）、近世以降（地下室2・溝9・溝状遺構41・柵列2・土坑4・ピット）旧石器、縄文土器、近世、近現代遺物	大調21
21	苗間1-6-4, 5	1999. 11. 29～11. 30	19	個人住宅	なし	町内Ⅸ
22	うれし野2-15-15	2000. 5. 25～5. 26	20	個人住宅	なし	町内Ⅹ
23	苗間1-11-1	2001. 5. 11～5. 15	85	個人住宅	旧石器礫群	町内Ⅺ
24	苗間1-11-4	2003. 2. 7～2. 13	185	個人住宅	境界溝	町内Ⅻ
25	苗間1-10-8	2004. 6. 4～6. 10	809	共同住宅	土坑1・ピット1	町内Ⅻ
26	苗間1-11-13	2005. 11. 3～12. 1	54	分譲住宅	なし	市内2

大調＝大井町遺跡調査会報告、大史＝大井町史料、東部＝東部遺跡群、町内＝町内遺跡群、市内＝市内遺跡群

(2) 遺構と遺物

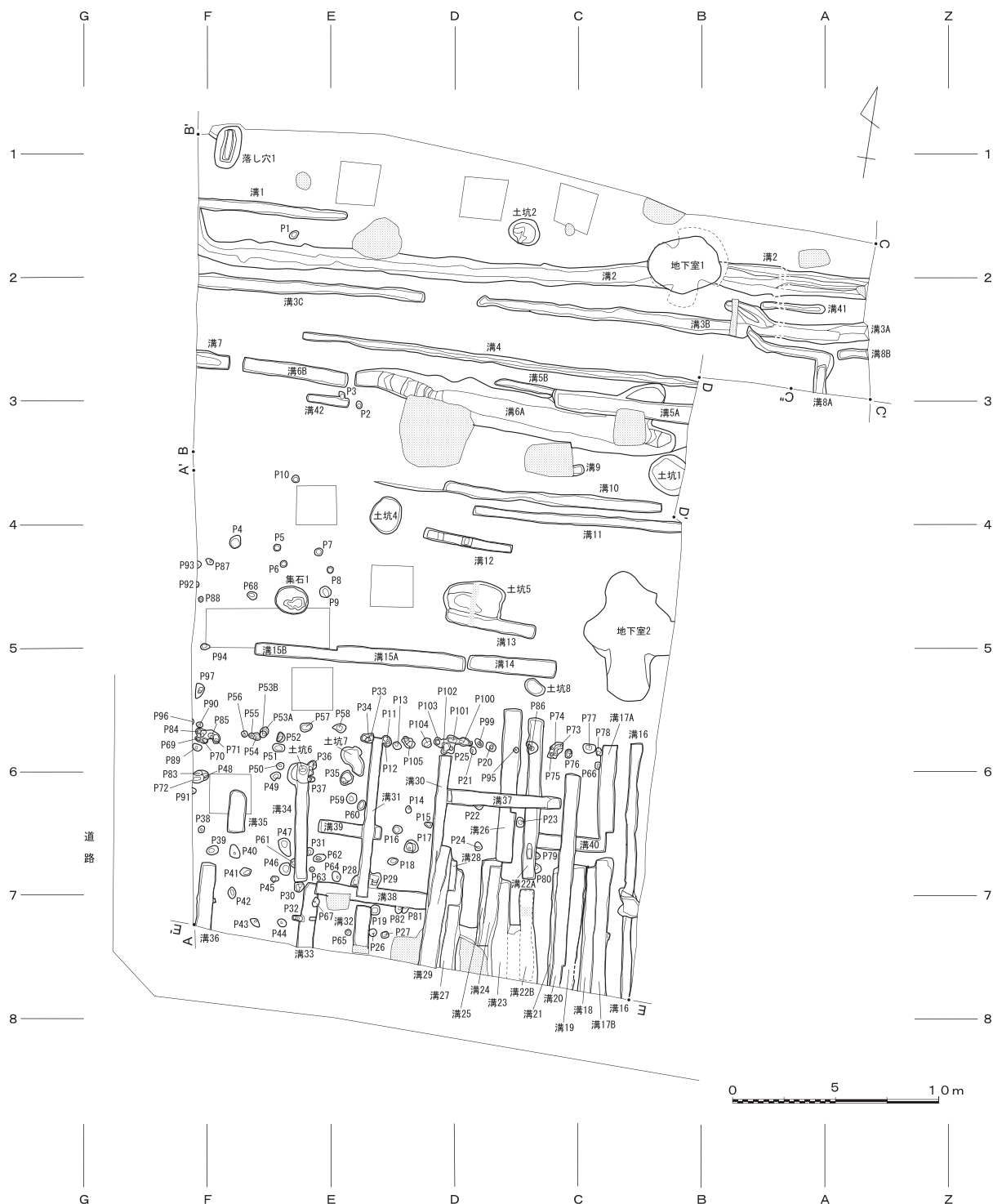
①石器群 (第7図)

調査区中央D3グリッドで1ヶ所検出した。剥片3点、礫3点が出土した。

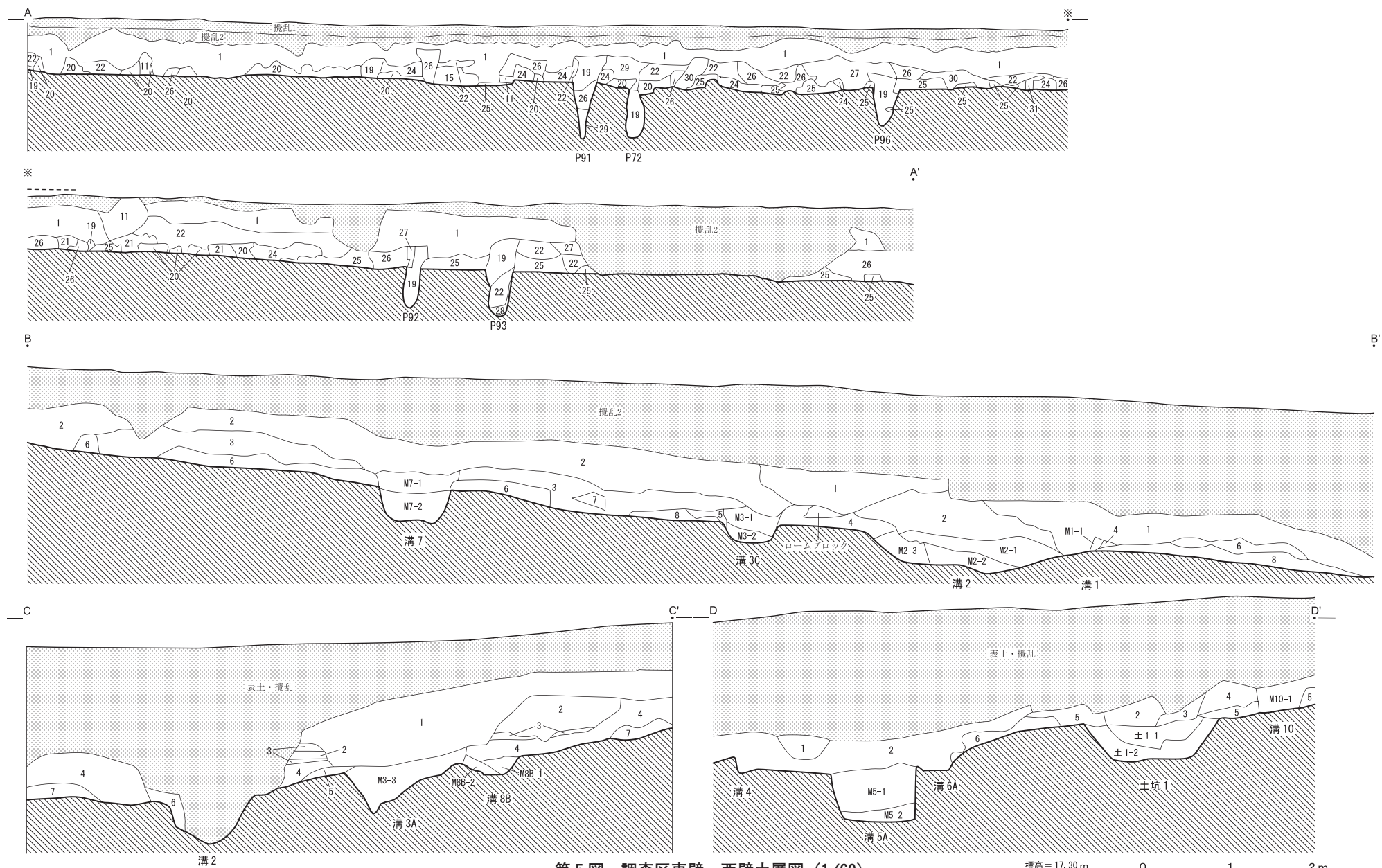
②落とし穴 (第4・8図、第3表)

調査区北西隅のE1グリッドで落とし穴を1基検出し

た。富士見さかい川へ向かう斜面地で、川と直交する。長軸は南北方向を向く。平面形は上端が楕円形、下端が長方形を呈する。壁は「V」字形で上端が開く。上端212×127cm、下端138×24cm、深さ138cm。覆土は締めり有る黒褐色土、縄文時代中期土器破片が出土する。縄文時代の落とし穴と思われる。



第4図 遺構配置図 (1/300)



第5図 調査区東壁、西壁土層図 (1/60)

標高=17.30m
土層説明は第6図参照

0 1 2m

第3表 中沢前遺跡第20地点 遺構一覧表

()内は残存値及び確認された規模, 備考欄の写番号は写真図版番号

図版 番号	遺 構 名	グリッド	形 状	長 軸 (cm)	短 軸 (cm)	深 さ (cm)	底面標高 (m)	主軸方位	遺 物	時 期	備 考
4, 8	落し穴1	E0・1	楕円形	212	127	138	13.43	N-11° -E	○	縄文時代	写1。
4, 8	集石1	E4	楕円形	161	130	23	16.12	-	○	縄文時代	写1。
4, 9	地下室1	A・B1・2	十文字形	南北395	316	217	12.77	N-11° -E	○	近世以降	溝2より新／写1。
4, 10	地下室2	B4・5	十文字形	南北692	369	(234)	(14.27)	N-15° -W	○	近世以降	写2。
4, 5, 11	土坑1	B3	楕円形	(175)	183	71	15.5	N-67° -E	○	近世以降	東側は調査区外／写2。
4, 11	土坑2	C1	円形	150	133	41	14.49	N-77° -E		縄文時代か	写2。
4, 11	土坑4	D3・4	楕円形	181	148	20	16.00	N-2° -E	○	縄文時代	写2。
4, 11	土坑5	C・D4	長方形	285	(159)	28	16.11	N-88° -W	○	縄文時代	溝13より旧／写2。
4, 11	土坑6	E5・6	不整形	115	107	37	16.18	N-57° -E	○	縄文時代か	P36・37と切り合う。溝34より旧／写2。
4, 11	土坑7	D5・6	不整形	162	100	13	16.42	N-39° -W			写2。
4, 11	土坑8	C5	楕円形	106	71	16	16.33	N-65° -W			
4, 5, 12	溝1	D〜F1	長方形	(729)	61	32	14.78	N-86° -E		近世以降	西側は調査区外。溝2より新。
4, 5, 12	溝2	Z〜D1・2, E・F1	長方形	(3055)	134	74	14.63	N-80° -E	○	近世以降	断面形は「鍋底」形。底部は小さい凹凸が多くみられる。東・西側は調査区外。地下室1、溝1より旧／写2。
4, 5, 12	溝3A	Z・A2	長方形	(712)	88	31	15.16	N-83° -E	○	近世以降	断面形は「V」字形。東側は調査区外。溝3Bと切り合う／写2。
4, 12	溝3B	A〜C2	長方形	(1806)	82	32	14.99	N-86° -E		近世以降	断面形は箱葉研。溝3A・8Aと切り合う／写2。
4, 5, 12	溝3C	D2, E・F1・2	長方形	(1110)	76	14	15.01	N-85° -E		近世以降	断面形は箱葉研。西側は調査区外／写2。
4, 5, 12	溝4	B〜E2	長方形	(1925)	42	42	15.30	N-88° -E	○	近世以降	東側は調査区外／写2。
4, 5, 12	溝5A(溝状遺構)	B・C2・3	長方形	(672)	104	69	14.97	N-89° -E	○	近世以降	東側は調査区外。溝6Aより旧。溝5Bと切り合う／写3。
4, 5, 12	溝5B	C2	長方形	(284)	38	16	15.52	N-89° -E		近世以降	断面形は「鍋底」形。溝5Aと切り合う／写3。
4, 5, 12	溝6A(溝状遺構)	B3, C・D2・3	長方形	(1582)	196	104	14.65	N-88° -W	○	近世以降	東側は調査区外。東西両端に階段状に段差あり。溝5Aより新／写3。
4, 5, 12	溝6B(溝状遺構)	D・E2	長方形	516	72	41	15.13	N-90° -W	○	近世以降	写3。
4, 5, 12	溝7(溝状遺構)	E・F2	長方形	(152)	86	44	15.15	N-85° -E	○	近世以降	断面形は「鍋底」形。底部は小さい凹凸が多くみられる。壁はほぼ垂直に立ち上がる。西側は調査区外。
4, 6, 12	溝8A	Z・A2	長方形	(580)	60	76	15.04	N-1° -E		近世以降	南北部分の底部は凹凸がみられ、西に折れた東西部分は平坦。さらに西側で緩く曲がる部分では凹凸がみられる。南側は調査区外。溝3Bと切り合う／写2。
4, 5, 12	溝8B	Z2	長方形	(148)	45	30.6	15.11	N-78° -E		近世以降	断面形は「鍋底」形。東側は調査区外／写2。
4, 12	溝9(溝状遺構)	B・C3	長方形	(54)	52	23	16.01	N-70° -E		近世以降	西側は攪乱される。
4, 5, 13	溝10(溝状遺構)	B〜D3	長方形	1061	59	45	15.94	N-86° -E		近世以降	東側は調査区外／写3。
4, 13	溝11(溝状遺構)	B・C3・4	長方形	(1012)	47	28	16.19	N-85° -E		近世以降	東側は調査区外／写3。
4, 13	溝12(溝状遺構)	C・D4	長方形	435	43	32	16.01	N-89° -W	○	近世以降	写3。
4, 13	溝13(溝状遺構)	C・D4	長方形	448	68	28	16.18	N-88° -W		近世以降	土坑5より新。
4, 13	溝14(溝状遺構)	C5	長方形	437	71	21	16.38	N-85° -E		近世以降	写4。
4, 13	溝15A(溝状遺構)	C5, D4・5	長方形	(616)	80	22	16.16	N-84° -E	○	近世以降	溝15Bと切り合う／写4。
4, 13	溝15B(溝状遺構)	E4・5	長方形	(400)	62	23	16.22	N-84° -E	○	近世以降	溝15Aと切り合う／写4。
4, 6, 14	溝16(溝状遺構)	B5〜7	長方形	1235	51	28	16.56	N-7° -W		近世以降	南側は調査区外／写4。
4, 14	溝17A(溝状遺構)	B5・6	長方形	417	75	16	16.61	N-7° -W		近世以降	P66・78より新。溝40と切り合う／写4。
4, 6, 14	溝17B(溝状遺構)	B6・7	長方形	(669)	85	41	16.37	N-8° -W		近世以降	南側は調査区外。溝18と切り合う／写4。
4, 6, 14	溝18(溝状遺構)	B6・7	長方形	(613)	52	33	16.48	N-7° -W		近世以降	南側は調査区外。溝17Bと切り合う／写4。
4, 6, 14	溝19(溝状遺構)	B・C6・7	長方形	(608)	78	40	16.40	N-5° -W		近世以降	南側は調査区外。溝20と切り合う／写3。
4, 6, 14	溝20(溝状遺構)	B・C6, C7	長方形	(1037)	85	57	16.22	N-5° -W		近世以降	南側は調査区外。溝19・21・40と切り合う／写3。
4, 6, 14	溝21(溝状遺構)	C6・7	長方形	(585)	29	55	16.22	N-5° -W		近世以降	南側は調査区外。溝20と切り合う／写3。
4, 14	溝22A(溝状遺構)	C5・6	長方形	783	76	47	16.32	N-6° -W		近世以降	溝37、P86より旧。溝40、P79・80と切り合う／写3。
4, 6, 14	溝22B(溝状遺構)	C6・7	長方形	(451)	67	41	16.37	N-10° -W		近世以降	南側は調査区外。溝23と切り合う／写3。
4, 6, 14	溝23(溝状遺構)	C6・7	長方形	(474)	59	32	16.44	N-6° -W		近世以降	南側は調査区外。溝24より旧。溝22Bと切り合う／写3。
4, 6, 14	溝24(溝状遺構)	C6・7	長方形	(535)	68	52	16.18	N-2° -W		近世以降	南側は攪乱される。溝23より新。溝25より旧／写3。
4, 14	溝25(溝状遺構)	C6・7	長方形	(420)	98	47	16.22	N-6° -W		近世以降	南側は攪乱される。溝24より新。溝26と切り合う／写3。
4, 14	溝26(溝状遺構)	C5・6	長方形	744	91	25	16.46	N-6° -W		近世以降	P95より旧。溝25・37と切り合う／写3。
4, 6, 14	溝27(溝状遺構)	C・D7	長方形	(313)	76	50	16.20	N-2° -W		近世以降	南側は調査区外／写3。
4, 14	溝28(溝状遺構)	C・D6	長方形	157	32	34	16.36	N-3° -W		近世以降	溝29と切り合う／写3。
4, 6, 14	溝29(溝状遺構)	D6・7	長方形	(598)	77	56	16.13	N-1° -W		近世以降	南側は調査区外。溝30より旧。溝28と切り合う／写3。
4, 14	溝30(溝状遺構)	D5〜7	長方形	(721)	49	38	16.13	N-5° -W	○	近世以降	南端部の位置は不明。溝29・38より新。溝37より旧／写3。
4, 14	溝31(溝状遺構)	D5〜7	長方形	768	48	52	16.20	N-3° -W	○	近世以降	溝38、P28・29より新。P11・33より旧。溝39と切り合う／写3。
4, 14	溝32(溝状遺構)	D7	長方形	(195)	67	24	16.49	N-4° -W		近世以降	南側は攪乱される。P26より新。P19より旧／写3。
4, 6, 14	溝33(溝状遺構)	E6・7	長方形	(311)	65	13	16.59	N-1° -E	○	近世以降	南側は調査区外。P67より旧。溝38、P32と切り合う／写3。
4, 14	溝34(溝状遺構)	E6	長方形	478	58	34	16.32	N-9° -E	○	近世以降	土坑6、P31より新。P61と切り合う／写3。
4, 14	溝35(溝状遺構)	E6	長方形	208	83	9	16.52	N-6° -W		近世以降	
4, 6, 14	溝36(溝状遺構)	E・F6・7	長方形	(316)	71	32	16.38	N-3° -W		近世以降	南側は調査区外。
4, 14	溝37(溝状遺構)	C・D6	長方形	558	75	60	16.08	N-85° -E		近世以降	溝22A・30より新。溝26、P22と切り合う／写4。
4, 14, 15	溝38(溝状遺構)	D・E6・7	長方形	541	69	28	16.43	N-88° -E		近世以降	溝30・31より旧。溝33、P29・81・82と切り合う／写4。

図版番号	遺構名	グリッド	形状	長軸 (cm)	短軸 (cm)	深さ (cm)	底面標高 (m)	主軸方位	遺物	時期	備考
4, 14	溝39(溝状遺構)	D・E6	長方形	308	61	37	16.32	N-88° -E	○	近世以降	溝31と切り合う／写4。
4, 14	溝40(溝状遺構)	B・C6	長方形	273	57	19	16.62	N-86° -E		近世以降	溝17A・20・22Aと切り合う。
4, 12	溝41(溝状遺構)	A・2	長方形	312	40	18	15.24	N-89° -E		近世以降	写2。
4, 12	溝42(溝状遺構)	D・E2・3	長方形	201	48	13	15.65	N-89° -W		近世以降	P3より新。
4, 14	柵列1	B～D5	—	1180	—	—	—	N-84° -E		近世以降	P11～13、20・21・25・33・34・73～78・86・95・99～105／写4。
4, 14	柵列2	E・F5	—	(375)	—	—	—	N-84° -E		近世以降	東側は調査区外。P52・53A・53B・54～56・69～71・84・85・90・96／写4。

第4表 中沢前遺跡第20地点 ビット一覧表

()内は残存値及び確認された規模

図版番号	ビット No.	グリッド	形状	長軸 (cm)	短軸 (cm)	深さ (cm)	標高 (m)	備考
12	1	E1	楕円形	50	37	27	14.85	
12	2	D3	楕円形	40	30	19	15.38	
12	3	D2	楕円形	(44)	30	12	15.4	溝42より旧。
13	4	E4	楕円形	69	56	26	16.2	
13	5	E4	円形	38	36	22	16.06	縄文土器出土。
13	6	E4	円形	35	33	11	16.17	
13	7	E4	円形	41	40	16	16.12	
13	8	D・E4	円形	34	34	8	16.20	
13	9	D・E4	円形	56	54	23	16.06	縄文ビット。
13	10	E3	円形	36	36	14	15.90	縄文ビット。
14	11	D5	円形	44	28	50	16.04	柵列1。溝31より新。 P12と切り合う。
14	12	D5	円形	38	28	62	15.93	柵列1。P11と切り合う。
14	13	D5	円形	42	35	56	15.99	柵列1。
14	14	D6	円形	40	28	14	16.51	
14	15	D6	円形	39	28	15	16.51	
14	16	D6	円形	47	43	8	16.6	
14	17	D6	円形	66	51	38	16.29	礫出土。
14	18	D6	円形	50	35	15	16.52	
14	19	D7	円形	51	48	12	16.59	溝32より新。天目茶碗、 縄文土器、礫出土。
14, 15	20	C5	楕円形	54	38	64	16.00	柵列1。
14, 15	21	C5	楕円形	37	29	46	16.19	柵列1。
14, 15	22	C6	円形	47	(23)	22	16.45	溝37と切り合う。
14, 15	23	C6	円形	49	37	11	16.46	
14, 15	24	C6	円形	40	33	18	16.51	
14	25	D5	不整形	(52)	(22)	58	16.02	柵列1。 P101・102と切り合う。
14	26	D7	円形	38	36	18	16.56	溝32より旧。
14	27	D7	円形	38	33	9	16.62	
14	28	D6	不整形	54	37	25	16.44	溝31より旧。
14	29	D6	不整形	85	63	21	16.48	溝31より旧。 溝38と切り合う
14, 15	30	E6	円形	55	49	18	16.49	
14	31	E6	円形	37	(35)	13	16.50	溝34より旧。
14	32	E7	長方形	57	22	25	16.44	溝33と切り合う。
14	33	D5	長方形	30	23	47	16.14	柵列1。溝31より新。 P34と切り合う。
14	34	D5	長方形	28	21	30	16.26	柵列1。P33と切り合う。
14, 15	35	D5・6	長方形	73	58	25	16.32	縄文土器、礫出土。
14	36	E5	長方形	41	(18)	19	16.35	土坑6と切り合う。
14	37	E6	長方形	37	25	28	16.26	土坑6と切り合う。
14, 15	38	F6	円形	36	29	56	16.07	
14, 15	39	E・F6	楕円形	61	39	22	16.42	
14, 15	40	E6	楕円形	62	49	21	16.41	
14, 15	41	E6	楕円形	57	38	13	16.52	
14, 15	42	E6・7	楕円形	54	39	17	16.48	
14, 15	43	E7	楕円形	55	33	17	16.48	
14, 15	44	E7	楕円形	43	35	16	16.51	
14, 15	45	E6	不整形	29	29	16	16.50	
14, 15	46	E6	楕円形	59	52	18	16.48	
14, 15	47	E6	不整形	91	56	20	16.45	
14, 15	48	E・F5・6	不整形	40	28	21	16.35	P72・83と切り合う。
14, 15	49	E6	不整形	52	35	11	16.48	
14, 15	50	E5	円形	34	34	12	16.45	
14, 15	51	E5	楕円形	60	38	15	16.42	
14, 15	52	E5	楕円形	48	40	63	15.92	柵列2。
14, 15	53A	E5	不整形	39	(23)	8	16.43	柵列2。P53Bより新。
14, 15	53B	E5	円形	32	31	44	16.10	柵列2。P53Aより旧。
14, 15	54	E5	不整形	42	36	16	16.38	柵列2。P55より旧。
14, 15	55	E5	円形	32	24	29	16.22	柵列2。P54より新。
14, 15	56	E5	円形	31	28	66	15.85	柵列2。
14, 15	57	E5	楕円形	61	43	13	16.41	
14, 15	58	D5	不整形	67	44	26	16.27	
14, 15	59	D6	円形	53	49	17	16.43	
14, 15	60	D6	楕円形	52	36	8	16.53	
14, 15	61	E6	不整形	46	23	9	16.56	溝34と切り合う。
14, 15	62	E6	楕円形	61	36	28	16.36	礫出土
14, 15	63	E6	円形	27	24	7	16.58	
14, 15	64	D6	円形	55	41	26	16.41	
14, 15	65	D7	円形	31	29	11	16.60	
14, 15	66	B5	円形	34	24	38	16.30	溝17Aより旧。
14, 15	67	E7	楕円形	47	34	16	16.53	溝33より新。
13	68	E4	楕円形	49	38	14	16.16	
14, 15	69	F5	不整形	29	22	59	15.85	柵列2。P70より新。P84と切り合う。 礫出土。
14, 15	70	E・F5	不整形	31	30	71	15.82	柵列2。P85より新。P69より旧。 P84と切り合う。
14, 15	71	E5	不整形	52	41	69.6	15.83	柵列2。P85より新。
5, 14, 15	72	F6	不整形	(62)	37	66.6	15.89	P48・83と切り合う。
14, 15	73	C5	不整形	46	29	63.0	16.00	柵列1。P74より旧。
14, 15	74	C5	不整形	—	24	56.7	16.07	柵列1。P73・75より新。
14, 15	75	C5	不整形	78	32	84.5	15.80	柵列1。P74より旧。
14, 15	76	C5	不整形	42	31	55.4	16.08	柵列1。
14, 15	77	B5	不整形	61	46	27.1	16.42	柵列1。
14, 15	78	B5	不整形	41	39	23.6	16.45	柵列1。溝17Aより旧。
14, 15	79	C6	不整形	32	(20)	11.5	16.64	溝22Aと切り合う。
14, 15	80	C6	不整形	46	(31)	22.3	16.55	溝22Aと切り合う。
14	81	D7	円形	29	(27)	18.1	16.52	溝38と切り合う。
14, 15	82	D7	円形	34	(33)	19.4	16.50	溝38と切り合う。
14, 15	83	F5・6	楕円形	42	24	38	16.12	P48・72と切り合う。 金属遺物、礫出土。
14	84	F5	不整形	31	(24)	70	15.81	柵列2。 P69・70・85と切り合う。
14, 15	85	E・F5	不整形	37	(21)	73	15.78	柵列2。P70・71より旧。 P84と切り合う。
14	86	C5	楕円形	60	57	69	15.90	柵列1。溝22Aより新。
13	87	E・F4	楕円形	43	33	47	15.76	
13	88	F4	楕円形	28	26	23	16.02	
14	89	F5	楕円形	47	32	64	15.85	
14	90	F5	楕円形	32	23	20	16.31	
5, 14	91	F6	不整形	28	(19)	65	15.93	西側は調査区外。
5, 13	92	F4	楕円形	29	(11)	47	15.78	西側は調査区外。
5, 13	93	F4	楕円形	37	(18)	47	15.79	西側は調査区外。
13	94	E・F4・5	楕円形	45	32	25	—	
14	95	C5	楕円形	28	23	19	16.32	柵列1。溝26より新。
5, 14	96	F5	—	26	—	44	16.24	西壁セクにあるのみ
14	97	F5	楕円形	83	48	56	15.97	
4, 14	99	C5	楕円形	46	43	71	15.93	
4, 14	100	C5	不整形	(45)	42	82	15.80	P101より新。
4, 14	101	C・D5	不整形	(59)	(35)	76	15.82	P100より旧。P25・102と切り合う。
4, 14	102	D5	不整形	74	(38)	79	15.81	P103より新。P25・101と切り合う。
4, 14	103	D5	不整形	46	(31)	69	15.90	P102より旧。
4, 14	104	D5	不整形	49	47	63	15.93	
4, 14	105	D5	不整形	69	34	60	15.96	

③集石（第4・8図、第3表）

調査区中央西側のE4グリッドで集石を1基検出した。川へ向かう斜面地手前の平坦地に立地する。礫は240×240cmの範囲に散在して出土する。中心部分に楕円形の土坑を伴う。161×130cm、深さ23cm。

④地下室

地下室1（第4・9図、第3表）

調査区北東のA・B1・2グリッドで検出した。川へ向かう斜面地に立地する。溝2と重複し、溝2より新しい。竪坑から袋状の横穴が伸びる地下式の遺構である。近世以降、当地域で普及したサツマイモの貯蔵用に掘られた「アナグラ」に類似する。横穴の天井部分が崩落しているため、竪坑の形状は不明であるが、天井の残存状況から竪坑は遺構中央部にあったと思われる。

横穴は三方向にある。南側にある室1は隅丸の方形で、奥壁幅123cm、奥行き147cm、天井高144cm。西側の室2は扇形を呈し、入り口幅174cm、奥幅216cm、奥行き126cm、天井高93cm。北東側の室3も扇形を呈し、入り口幅198cm、奥幅333cm、奥行き168cm、天井高108

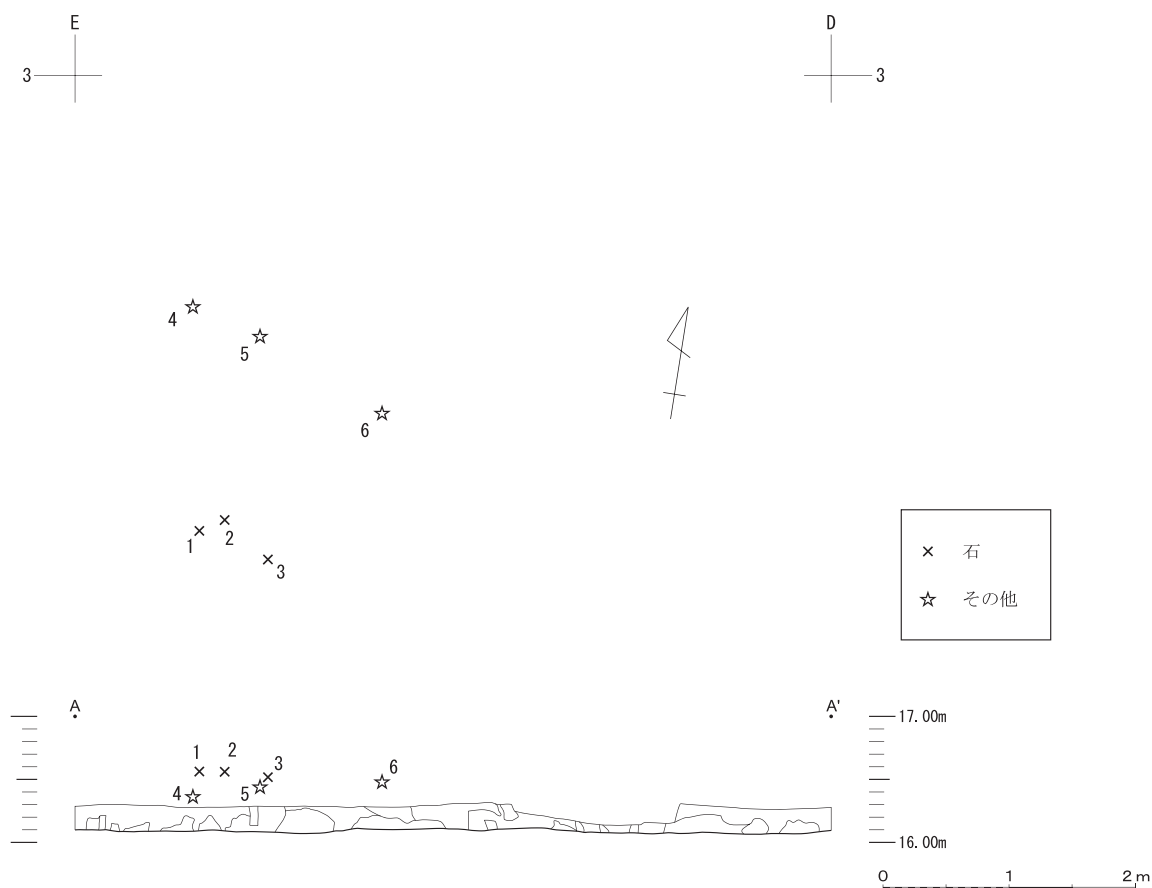
cm。床は平坦であるが、中央に径35cm、深さ6cmの円形の浅いピットがある。

三室は中央の窪みを中心とした半径2mの円形に配置されている。

床上には天井等のローム崩落土が30cm程堆積した上に、近世～近代の遺物を含んだ黒色土が堆積する。再び天井が崩落した後堆積した黒色土からは、ガラス瓶、瓦等の遺物が大量に出土する。

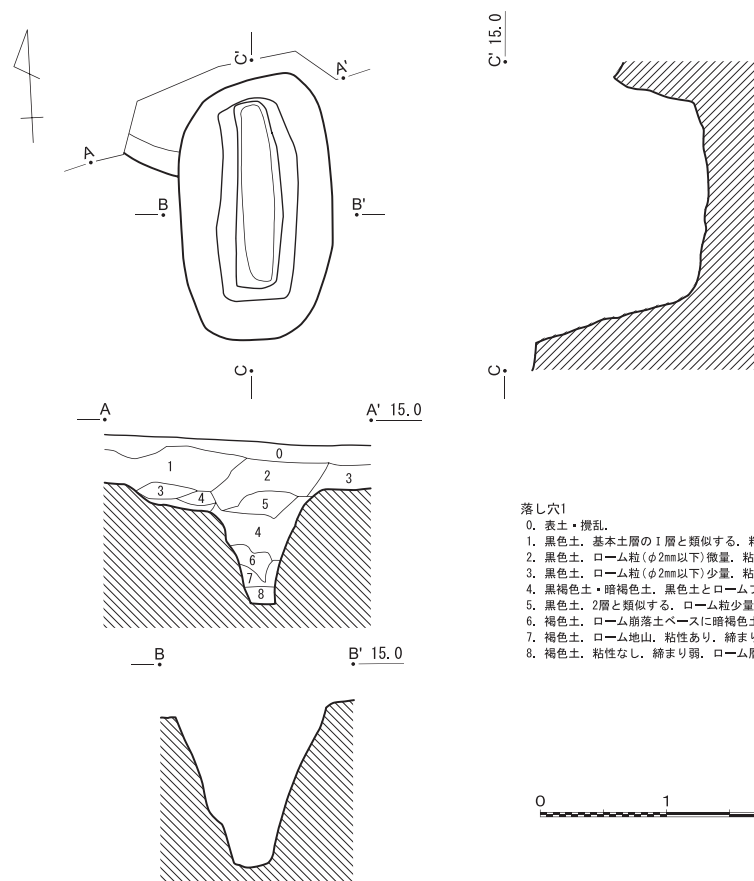
出土遺物の中に「安田医院」と陽刻された1935年以降の薬瓶が出土している。当時大井村は昭和20年2月に大井医院が発足するまで無医村であったが、近隣では川越市砂に安田医院が昭和10年代には存在していた（昭和40年代に廃業）。また、三芳町上富に1943（昭和18）年2月開業の安田医院があり砂の安田医院の親戚筋にあたる。瓶の年代からすれば、川越市砂の安田医院の薬瓶であった可能性がある。

出土遺物は近世から近代（1680年代～1920年代）の陶器、磁器、土器、石製品、金属遺物、ガラス製品等が出土している。上層（0層）と下層（3層）出土の遺物に際立った時期差はない。出土遺物から廃棄年代

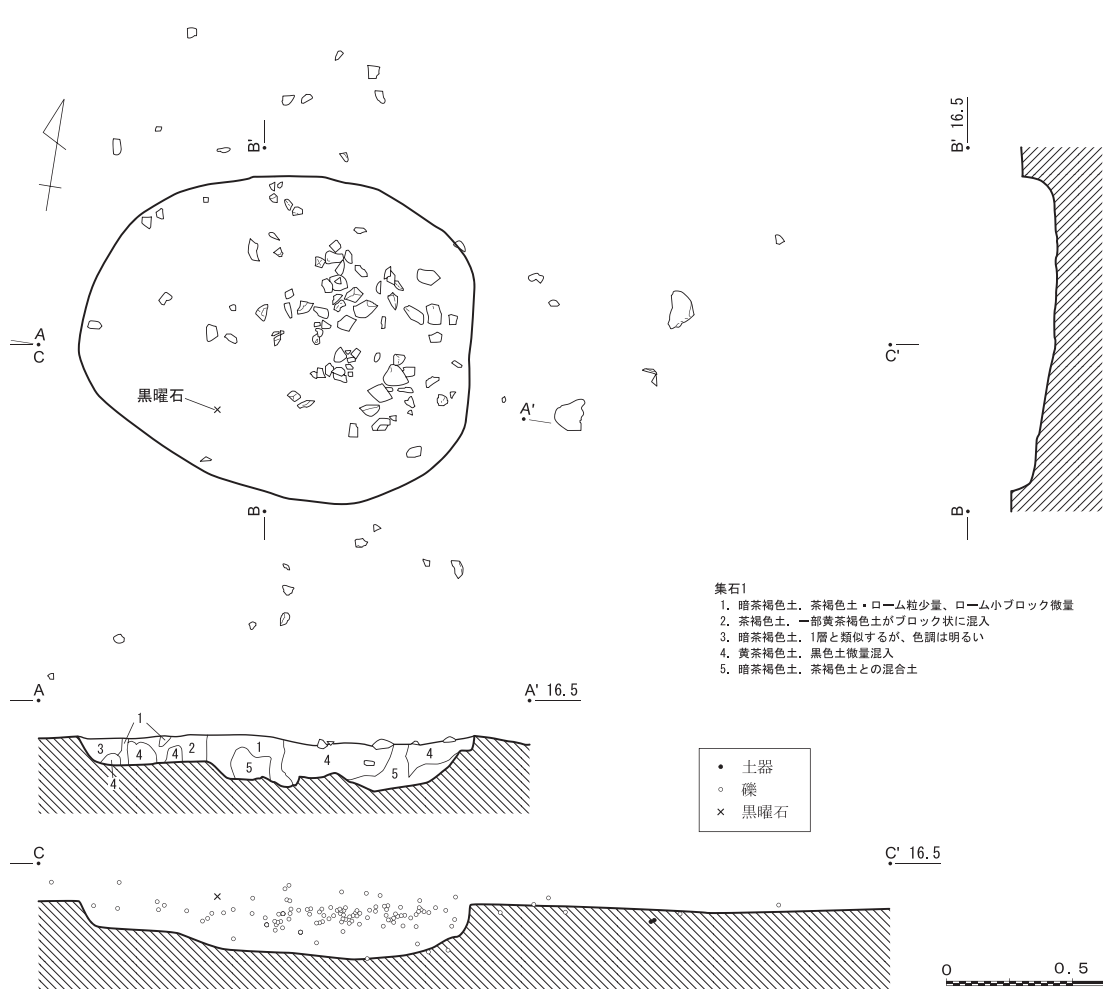


第7図 旧石器ドット図（1/60）

落とし穴1



集石1



第8図 落とし穴1 (1/60)、集石1 (1/30)

は大正以降である。

地下室2（第4・10図、第3表）

調査区中央東端のB4・5グリッドで検出した。川へ向かう斜面地手前の平坦地に立地する。竪坑から袋状の横穴が伸びる地下式の遺構である。「アナグラ」に類似する。横穴の天井部分が崩落しているため、竪坑の形状は不明であるが、天井の残存状況から竪坑は遺構中央部にあったと思われる。

横穴は四方向にある。南側にある室1は台形で、入り口幅138cm、奥壁幅282cm、奥行き258cm。西側にある室2も台形で、入り口幅129cm、奥壁幅300cm、奥行き270cm。北側にある室3も台形で、入り口幅159cm、奥壁幅279cm、奥行き258cm。東側の室4は調査区域外で形状不明であるが、入り口幅は150cmある。天井高は推定で180cm程ある。

床上には天井等のローム崩落土が70cm程堆積した上に、近世～近代の遺物を含んだ黒色土が堆積する。

出土遺物の中に「内科・小児科・安田医院」と陽刻された1900年代～10年代の薬瓶が出土している。地下室1より若干古い遺物である。

出土遺物は近世から現代（1820年代～現代）の磁器、土器、石製品、金属遺物、ガラス製品等が出土している。出土遺物から廃棄年代は戦後である。

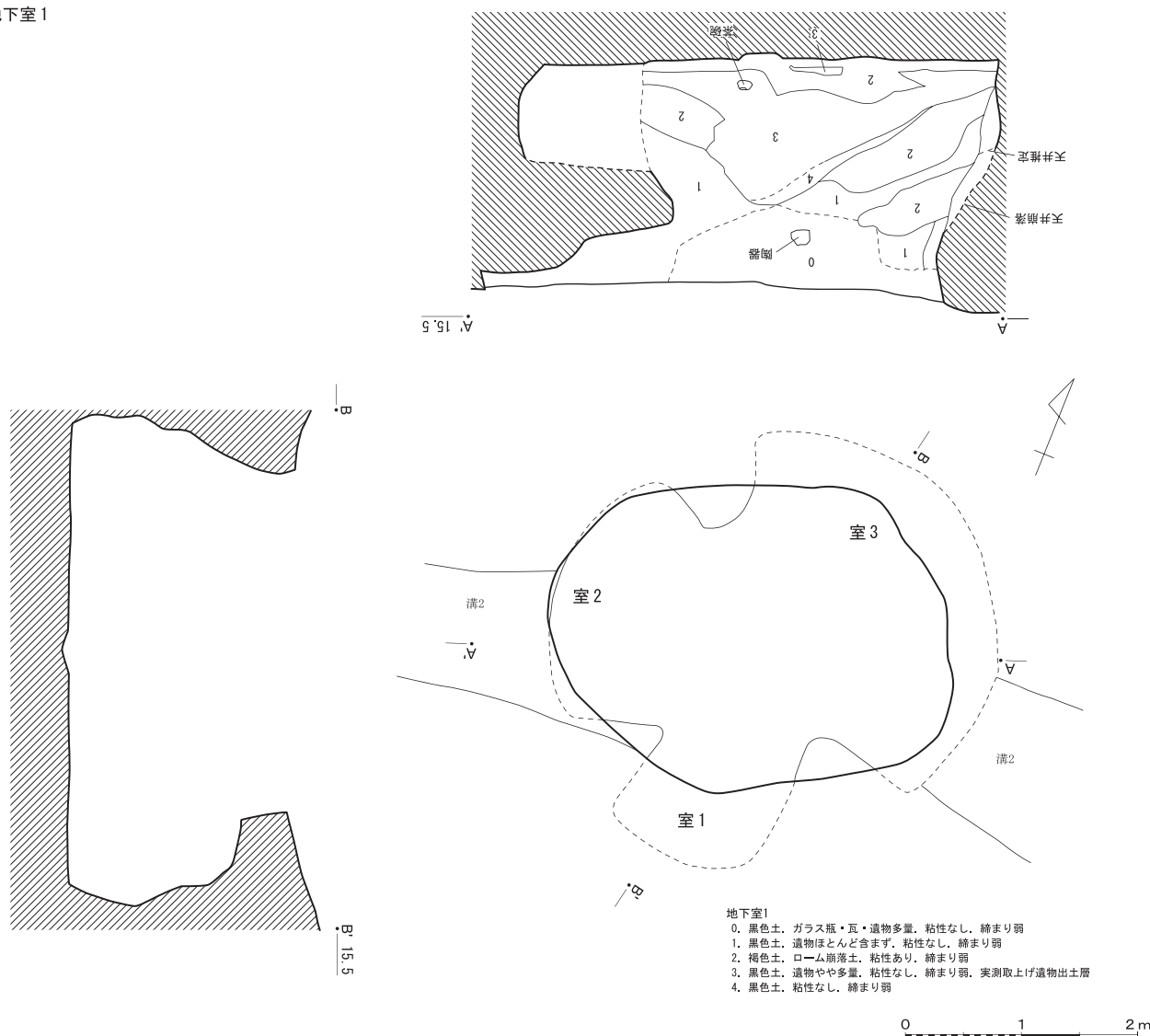
⑤溝（第4・12図、第3表）

調査時に「溝」としてカウントした遺構のうち、通常の溝（境界、排水等）については溝として報告し、細長方形の遺構について「溝状遺構」として報告する。

溝2

調査区北端、Z～D1・2、E・F1グリッドに位置する。断面形態は鍋底形、さかい川と並行な東西方向

地下室1



第9図 地下室1（1/60）

に配置され、西端で90°北へ屈曲する。東側は調査区域外へ延びる。1号溝、地下室1より古い。

溝3 A

調査区北東、Z・A 2 グリッドに位置する。断面形態は「V」字形。東西方向に配置され、西端で北へ屈曲する。溝3 Bより古い。

溝1・3 B・3 C・4・5 B・8 B

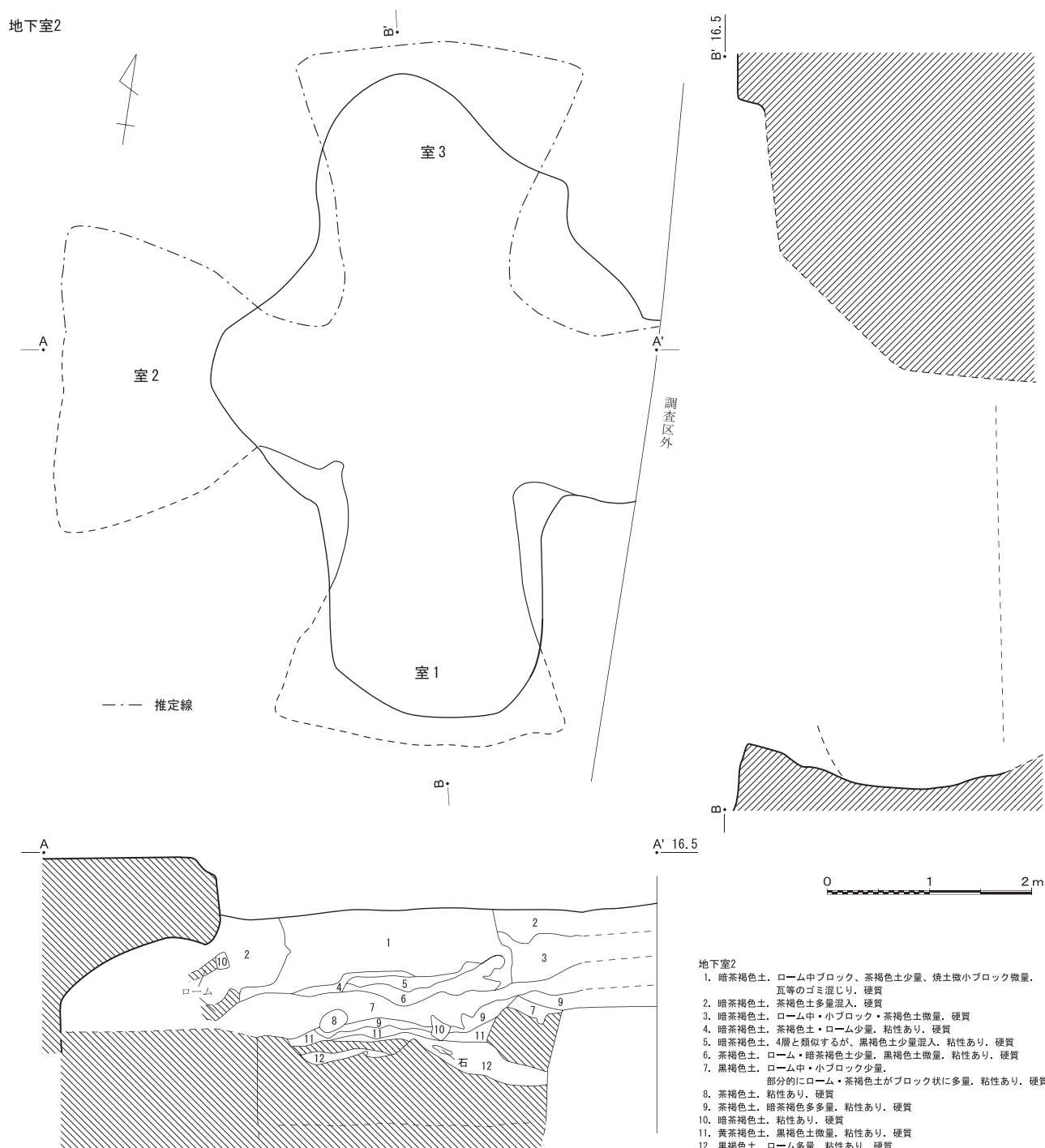
断面形態は幅の狭い鍋底形。東西方向に配置される。

溝8 A

調査区北東、Z・A 2 グリッドに位置する。断面形態は幅の狭い箱形。クランク状に屈曲する。

⑥溝状遺構（第4・12～14図、第3表）

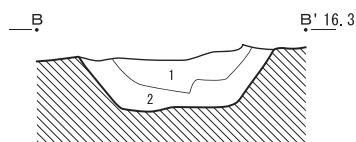
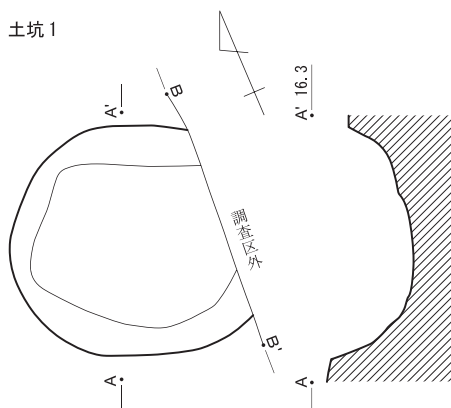
幅50～80cm、長さ2～12m、現地表面からの深さ90～120cm、断面箱状の形態を呈する長方形の遺構である。41基検出し、南北方向25基、東西方向16基である。同種の遺構は市内各地で数多く検出されており、県内



第10図 地下室2 (1/60)

土坑1・2・4～8、P36・37

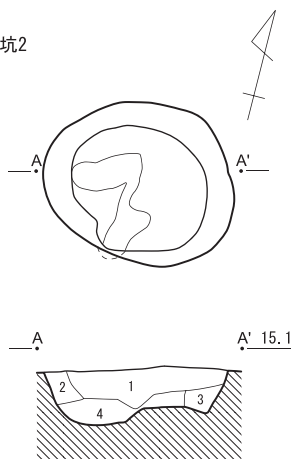
土坑1



土坑1

1. 黄褐色土、暗褐色土少量混入、粘性あり、締まり強
2. 黄褐色土、粘性あり、締まり強

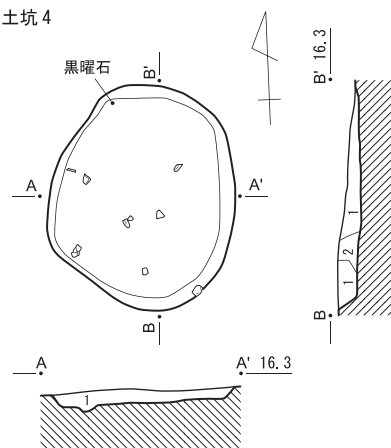
土坑2



土坑2

1. 黒色土、ローム粒（φ2mm以下）微量、粘性あり、締まり弱
2. 黒褐色土、1層と類似するが、ローム（φ10mm）しみ状に少量、粘性あり、締まり弱
3. 暗褐色土、しみ状ロームと黒褐色土の混合土、黒褐色土が多い、粘性あり、締まり弱
4. 暗褐色土、ロームベースに黒褐色土少量、粘性あり、締まり弱

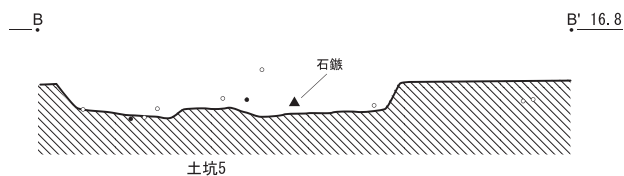
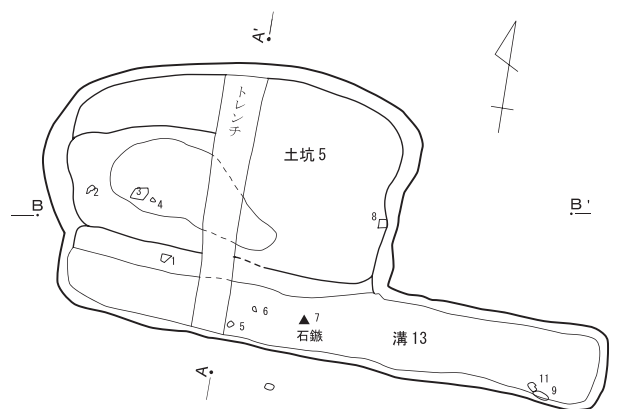
土坑4



土坑4

1. 黒色土、ローム（φ5mm以下）しみ状に少量、粘性あり、締まり弱、縄文覆土
2. 黒褐色土、ローム（φ10mm以下）しみ状に多量、粘性あり、締まり弱、縄文覆土

土坑5



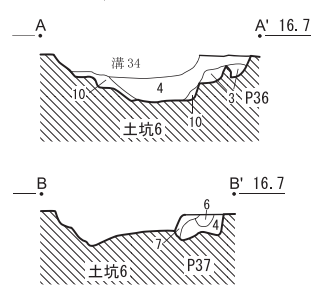
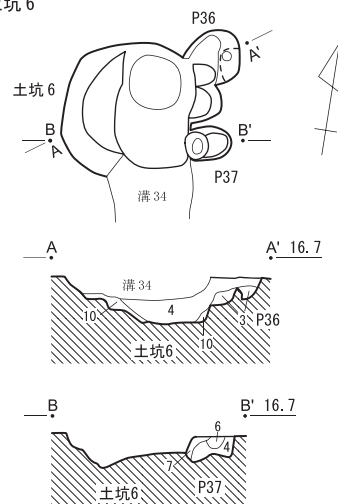
土坑5

1. 黒色土、暗褐色土（φ2mm以下）しみ状に微量、粘性あり、締まり弱
2. 黒褐色土、ロームブロック（φ20mm以下）少量、ローム（φ20mm以下）しみ状に少量、粘性あり、締まり弱
3. 暗褐色土、ローム（φ10mm以下）しみ状に微量、ローム粒（φ1mm以下）微量、粘性あり、締まり弱
4. 暗褐色土、地山ロームベースに黒色土を斑状に少量、粘性あり、締まり弱

溝13

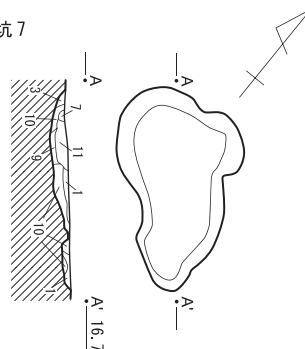
- ①. 黒色土、ロームブロック（φ10mm以下）少量、ローム粒（φ2mm以下）多量、粘性あり、締まり弱

土坑6

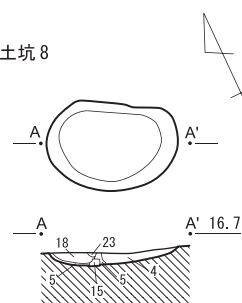


※土層説明は第15図ビット土層図参照

土坑7



土坑8



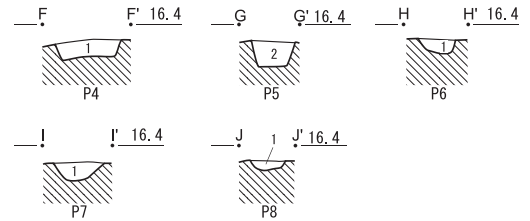
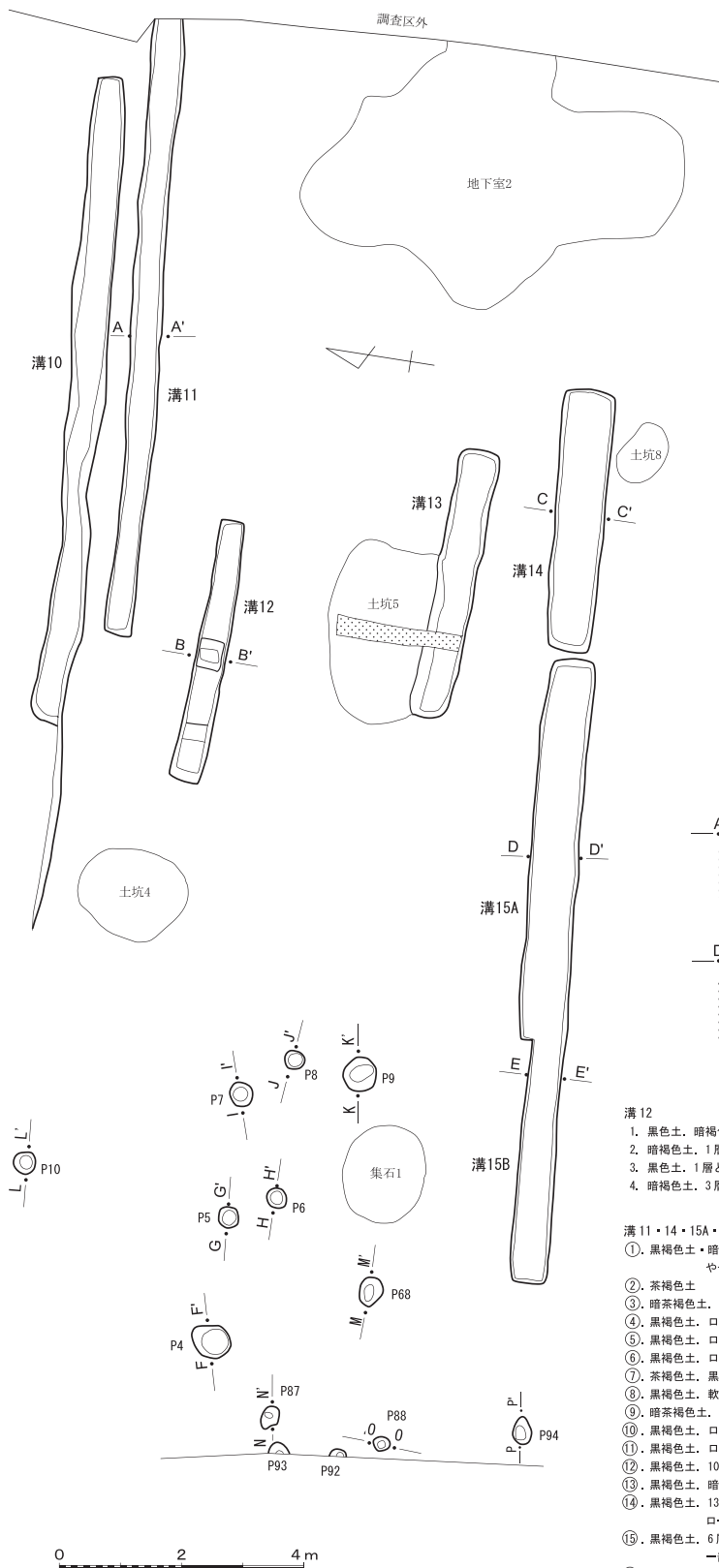
※土層説明は第15図ビット土層図参照

※土層説明は第15図ビット土層図参照

0 1 2m

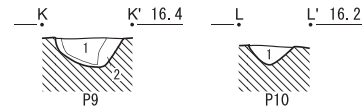
第11図 土坑 (1/60)

溝10～15、P4～10・68・87・88・94



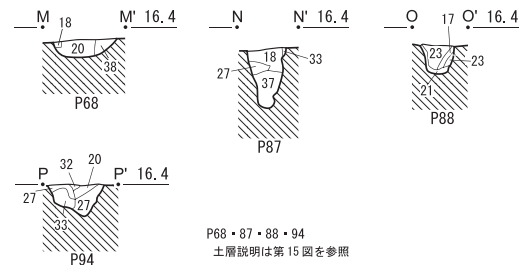
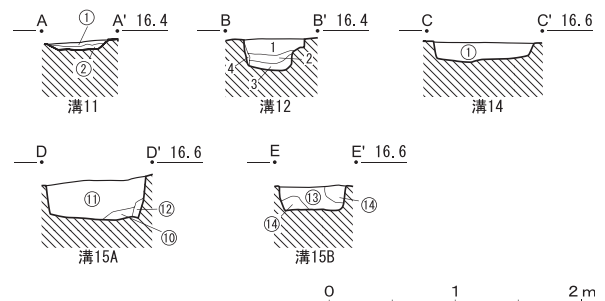
P4～8

1. 黒色土、ローム粒（φ1mm以下）微量、ローム（φ10mm以下）しみに少量、粘性あり、締まり強
2. 黒色土+暗褐色土、1層と類似するが、ローム（φ20mm）を多量、粘性あり、締まりやや弱



P9・10

1. 黒色土、黒褐色土をしみに混合、粘性あり、締まり強
2. 黒褐色土、褐色土（φ0.1mm）微量、粘性あり、締まり強

P68・87・88・94
土層説明は第15図を参照

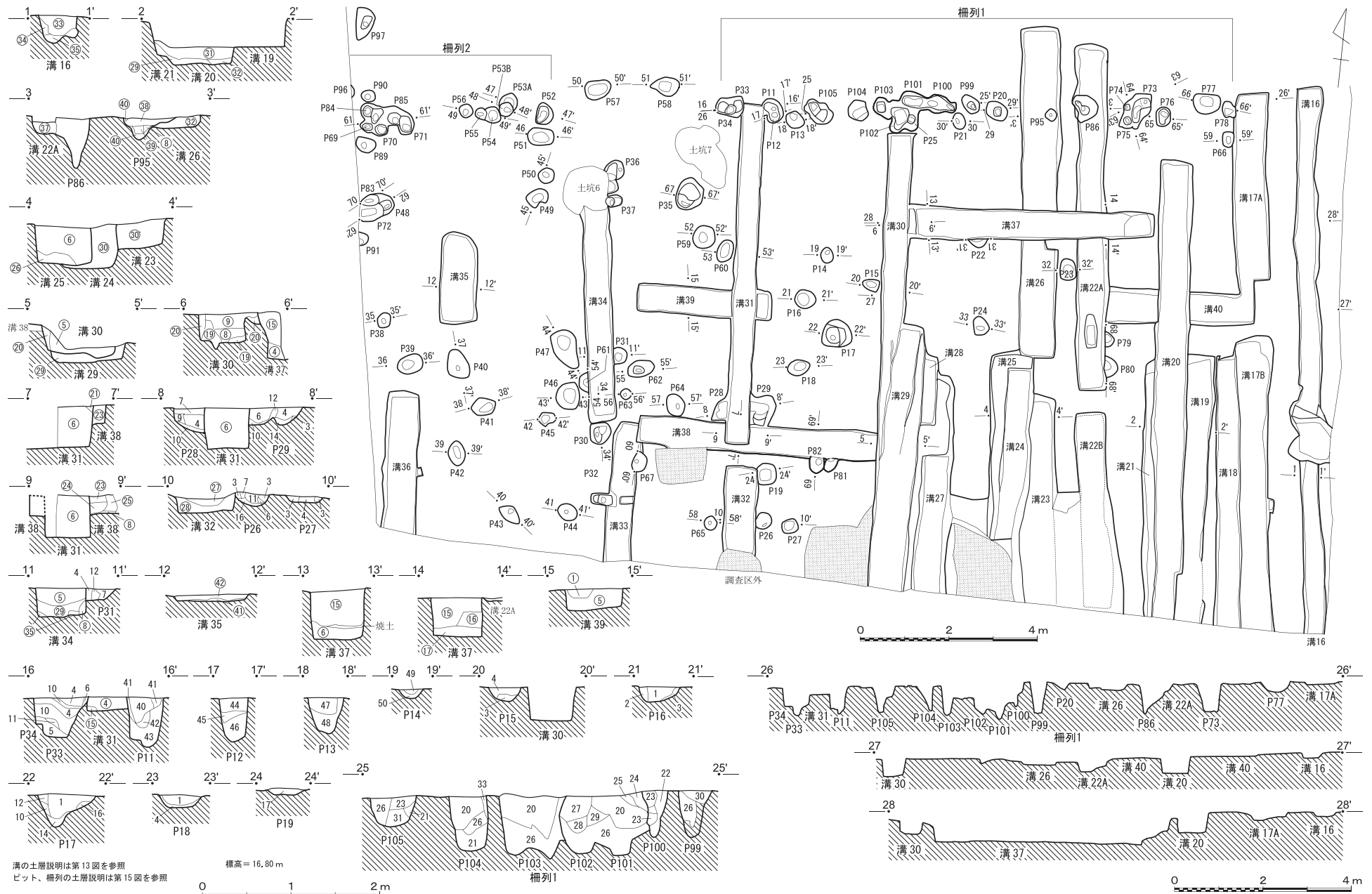
溝12

1. 黒色土、暗褐色土（φ2mm以下）しみに微量、粘性あり、締まり弱
2. 暗褐色土、1層と暗褐色土の混合、粘性あり、締まり弱
3. 黒色土、1層と類似する、粘性あり、締まり弱
4. 暗褐色土、3層と類似する、粘性あり、締まり弱

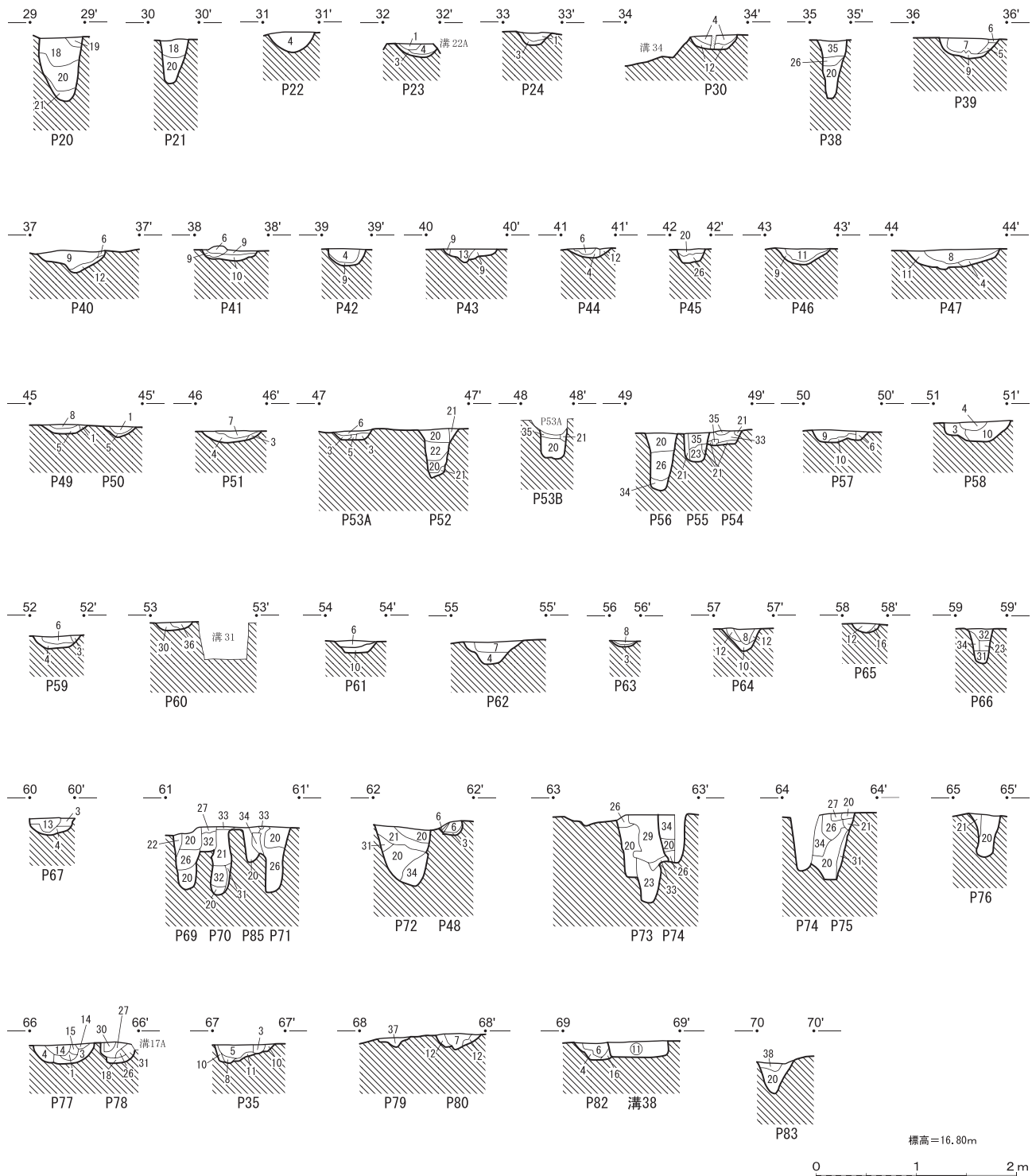
溝11・14・15A・15B・16・19～26・29～32・34・35・37～39

- ①. 黒褐色土・暗茶褐色土・黄茶褐色土の混合土、やや硬質
- ②. 茶褐色土
- ③. 暗茶褐色土、ローム大ブロック少量、一部粘性あり
- ④. 黒褐色土、ローム大・中・小ブロック微量、軟質
- ⑤. 黒褐色土、ローム大・中・小ブロック少量、軟質
- ⑥. 黒褐色土、ローム大・中・小ブロック多量、軟質
- ⑦. 茶褐色土、黒褐色土少量、軟質
- ⑧. 黒褐色土、軟質
- ⑨. 暗茶褐色土、ローム小ブロック少量、軟質
- ⑩. 黒褐色土、ローム小ブロック少量、軟質
- ⑪. 黒褐色土、ローム中・小ブロック少量、軟質
- ⑫. 黒褐色土、10層と類似するが、硬質
- ⑬. 黒褐色土、暗茶褐色土ブロック少量、軟質
- ⑭. 黒褐色土、13層と類似するが、ローム小ブロック微量混入、軟質
- ⑮. 黒褐色土、6層と類似するが、一部焼土・炭火土混入、やや硬質
- ⑯. 黒褐色土、ローム大ブロック多量、ローム中・小ブロック少量、やや硬質
- ⑰. 黒褐色土、ローム多量、ローム中・小ブロック多量
- ⑱. 黒褐色土、ローム多量、ローム粒少量、軟質
- ⑲. 黒褐色土、ローム多量
- ⑳. 暗茶褐色土、ローム・ローム粒・小ブロック少量
- ㉑. 黒褐色土、10層と類似するが、暗茶褐色土少量混入、軟質
- ㉒. 黄茶褐色土、ロームに黒褐色土一部混入、粘性あり
- ㉓. 黒褐色土、暗茶褐色土・ローム・ローム小ブロック少量
- ㉔. 黒褐色土、暗茶褐色土・ローム小・微小ブロック少量
- ㉕. 黒褐色土、24層と類似するが、ロームブロックが少ない
- ㉖. 黒褐色土、ローム微小ブロック・暗茶褐色土ブロック微量
- ㉗. 黒褐色土、ローム・ローム小ブロック少量
- ㉘. 黒褐色土、ローム・ローム大・小ブロック多量
- ㉙. 黒褐色土、ローム小・微小ブロック微量、やや軟質
- ㉚. 黒褐色土、6層と類似するが、暗茶褐色土少量混入
- ㉛. 黒褐色土、ローム中ブロック少量、ローム粒・ローム微小ブロック多量
- ㉜. 黒褐色土、ローム微小ブロック少量
- ㉝. 黒褐色土、暗茶褐色土・ローム・ローム粒微量
- ㉞. 黒褐色土、33層と類似するが、黄茶褐色土少量混入
- ㉟. 黄茶褐色土
- ㊱. 暗茶褐色土、ローム中・小・微小ブロック多量、一部ローム混入
- ㊲. 黒褐色土、4層と類似するが、黄茶褐色土少量混入
- ㊳. 黒褐色土、ローム粒微量、やや硬質
- ㊴. 黒褐色土、ローム粒多量
- ㊵. 黄茶褐色土、黒褐色土少量、軟質
- ㊶. 暗茶褐色土、硬質
- ㊷. 黒褐色土、29層と類似するが、ローム粒がブロック状に一部混入

第13図 溝状遺構・ピット (2) (1/120、1/60)



第14図 溝状遺構・柵列1・柵列2・ピット (3) (1/120, 1/60)



ビット

1. 暗茶褐色土、一部茶褐色土混入、硬質
2. 暗茶褐色土、色調やや明るい
3. 茶褐色土、粘性あり
4. 暗茶褐色土、茶褐色土多量、粘性あり、やや軟質
5. 暗茶褐色土、黄茶褐色土微量、粘性あり
6. 暗茶褐色土、やや軟質
7. 暗茶褐色土、黒褐色土少量、やや軟質
8. 暗茶褐色土、黒褐色土・黄茶褐色土少量
9. 暗茶褐色土、茶褐色土・黄茶褐色土少量、粘性あり、やや軟質
10. 茶褐色土、黄茶褐色土少量、粘性あり、硬質
11. 暗茶褐色土、黄茶褐色土微量に混入
12. 暗茶褐色土、黄茶褐色土多量
13. 暗茶褐色土、黒褐色土・茶褐色土少量
14. 暗茶褐色土、ローム中ブロック少量
15. 茶褐色土、軟質
16. 黄茶褐色土、粘性あり

17. 黒褐色土、ローム多量混入、軟質でもよい
18. 茶褐色土、黒褐色土少量
19. 暗茶褐色土、赤味がかった黒褐色土少量混入
20. 黄茶褐色土・黒色土・茶褐色土・ローム小ブロック・ローム粒の混合土、軟質
21. 黄茶褐色土、一部粘性あり
22. 黄茶褐色土、暗茶褐色土微量
23. 黒褐色土、暗茶褐色土・ローム粒多量、ローム微小ブロック微量、軟質
24. 暗茶褐色土、黄茶褐色土が少量混入
25. 茶褐色土、ローム小ブロック・黄茶褐色土多量
26. 暗茶褐色土、類似するが、ローム多量に混入
27. 黒褐色土・ローム小・微小ブロック・ローム粒少量
28. 黒褐色土・ローム小・微小ブロック・ローム粒多量
29. 暗茶褐色土、暗茶褐色土が少量混入
30. 暗茶褐色土、黄茶褐色土・ローム小ブロック微量
31. 黄茶褐色土、黒色土少量、軟質
32. 黒褐色土、一部暗茶褐色土がブロック状に混入、粘性あり
33. 暗茶褐色土
34. 暗茶褐色土とロームの混合土、軟質
35. 暗茶褐色土、ローム微量
36. 暗茶褐色土、茶褐色土・ローム微小ブロック微量
37. 黄茶褐色土、黄茶褐色土微量混入
38. 茶褐色土
39. 黒褐色土
40. 暗褐色土、ロームブロックベースに黒褐色土しみ状に少量、粘性あり、締まり弱
41. 暗褐色土、ロームブロックと黒色土の混合土、粘性あり、締まり弱
42. 黒色土、P12の2層と類似、ローム(φ10mm以下)微量、粘性あり、締まり弱
43. 黒色土、P12の3層と類似、ローム(φ10mm以下)多量、粘性あり、締まり弱

44. 暗褐色土、ロームブロックベースに黒色土含む、粘性あり、締まり弱
45. 黒色土、ローム(φ10mm以下)少量、粘性あり、締まり弱
46. 黒褐色土、ローム(φ10mm以下)多量、粘性あり、締まり弱
47. 黒褐色土、ローム粒(φ10mm以下)少量、粘性あり、締まり弱
48. 黒褐色土、ローム粒(φ20mm以下)多量、粘性あり、締まり弱
49. 黒色土、ローム粒(φ10mm以下)微量、ローム(φ10mm以下)しみ状に少量、粘性あり、締まり強
50. 黒色土+暗褐色土、1層と類似するが、ローム(φ20mm)を多量、粘性あり、締まりやや弱

第15図 ピット土層図 (1/60)

各地の発掘調査でも報告されている。

報告では「長方形土坑」「溝状土坑」「溝状遺構」等と記述されている。旧大井町での調査・報告でも「溝」「土坑」「イモビツ」と記述し、遺構名の統一がなされていない。試掘調査の段階では遺構全体の形状が不明であったため、遺構名を「溝」としていたので、今回の報告においても「溝状遺構」として報告する。

「イモビツ」とはサツマ芋、里芋の一時的貯蔵のために畑の中に掘られる穴で「シツ」「イモアナ」とも言う。幅50cm前後、長さ四～五間、深さはサツマ芋で120cm、里芋で90cm程である。現在でも畑に道路と並行して掘られた穴をみかける。近年では重機を使用し掘削する事もある。

溝状遺構 6 A（第12図）

調査区北側斜面地、B 3、C・D 2・3 グリッドに位置する。断面形態は「箱葉研」。東西方向に配置され、西端に5段、東端に3段の階段状の段差がある。東側で二股に分かれ、北へ屈曲する。溝 5 Aより新しい。床は粗掘りの掘り方土と思われるローム塊の上に、暗褐色土の硬化面がある。階段状の遺構を考え合わせると、長期間の使用や使用頻度の高さをうかがわせる。18世紀後半～19世紀中葉の陶磁器が出土する。

⑦土坑（第4・11図、第3表）

7基確認した。土坑 2・4～6が縄文時代。土坑 1は近世以降。残りは不明である。

⑧柵列（第4・14図、第3表）

調査区南側、B 5～F 5 グリッドに位置し、東西方向に配置する。柵列 1はP 78～P 34まで11.8m続く。3.6m（2間）間が開いて、柵列 2がP 52から西端の調査区外まで4.6m続く。柵列 1は溝状遺構22A、26、31を切って構築される。柵列 1、2共に昭和30年代以降に分割された宅地の土地境と重なる。（高崎直成）

中沢前遺跡第20地点の出土遺物

（第16～19図、第5～8表）

本地区から出土した遺物は、縄文土器・石器・礫・須恵器・土師器・磁器・陶器・土器・磁製品・土製品・瓦・石製品・ガラス製品・金属遺物・木製品・漆喰・自然遺物など総計600点を数える。以下、材質別に述べる。

縄文土器 本地点にて検出された縄文土器は合計111点を数え、その内訳は早期3点・前期54点・中期19点・中期後半～後期20点・後期3点・不明12点である。小破片が大部分を占めており、細分型式までは特定しがたいものが多いが、前期前半の関山式～黒浜式と考えられる土器が最も多い。本項では図示可能な資料の中から4点を抽出して以下にその概要を記述する。その他の資料の概要については集計表（第5表）を参照されたい。

1は胎土に繊維を多く含み、表面は無節R縄文が浅く施される。裏面には条痕等は認められず、ナデによって調整されている。前期前半、関山式～黒浜式に属するものと考えられる。

2は太く浅い沈線により縄文帯と磨消帯を渦巻状に区画する。中期後半加曾利E IV式ないし後期初頭の称名寺式に並行する加曾利E式系統の土器であると考えられる。

3は底部が外に広がる深鉢の破片で、器面には細目の半截竹管による幾何学的な文様が描かれる。後期堀之内2式～加曾利B式の朝顔形深鉢であると考えられる。

4は外側に屈曲する波状口縁破片。口唇に連続した刻みが付き、波頂には刻みを有する瘤状の装飾隆帯が付く。頸部は括れ、胴部は細かい結節沈線により楕円形に区画され、区画内には細縄文が充填される。後期後半、安行1式であると考えられる。

石器 合計3点が検出された。5は近世遺構である地下室1の覆土中より検出されたものだが、形態からみて後期旧石器時代の切出し形ナイフ形石器であると考えられる。不定形の縦長剥片を素材とし、粗雑な側縁調整が施されている。表面に原礫面または節理面を大きく残す。

6はRF（調整剥片）で、縄文時代遺構の土坑4からの検出である。不定形剥片を素材とし、縁辺に調整または使用痕とみられる小剥離が断続的に認められる。

7は有舌尖頭器で、縄文時代遺構の土坑5からの検出である。先端部をわずかに欠損する。調整加工が全体にやや粗雑で、厚みがあることから、未製品である可能性がある。縄文時代草創期の所産と考えられる。

（桜井聖悟）

土師器・須恵器 小破片のため図示はしていないが、それぞれ5点出土している。須恵器は海綿骨針を含むものが多い。(梶原 勝)

陶磁器・土器 近世と近・現代の遺物が出土しているが、近世の遺物は溝から、近・現代の遺物のほとんどは地下室1および地下室2から出土している。地下室1からは286点と約49%にあたる遺物が出土し、地下室2からは22点が出土している。また表土から若干の近・現代の遺物の出土がみられるが、溝・地下室以外の遺構の出土遺物は、縄文土器および礫が大部分を占めている。

掲載遺物は地下室1・2、溝6から出土した主な遺物であり、各々の遺物については観察表を参照されたいが、観察表で表しきれない事柄や、他の遺物との兼ね合い及び全体の様相などについて若干補足する。

地下室1の出土遺物を器種別からみると、陶磁器の碗・皿・小坏等の食膳具や播鉢・片口鉢等の調理具、香炉や植木鉢が出土し、また土器・瓦質土器・施釉土器では焙烙・箱火鉢・七輪等の調理具や燈火具が出土している。漆喰がついたままの瓦や金属遺物・ガラス製品も多くみられる。地下室1から出土している21はクロム青磁の小坏であるが、「白盛^{しろもり}」と呼ばれる白絵土を絵付に使用した製品である。このようなクロム青磁の製品は、これまで1890年代以降出現するものとして記載してきた。しかし瀬戸市赤重窯の報告書(財)瀬戸市埋蔵文化センター1998)を詳細に検討したところ、明治10年代には本製品が出現していたようである。つまり赤重窯は1次窯から4次窯までの造り替えがみられ、このうち2次窯から本製品がみられる。出土した全製品については、正確な層位ごとのあり方が明らかなものの、おおよそ、天然呉須・手描き→人工呉須・手描き→人工呉須・手描き／人工呉須・銅版転写という変遷がみられ、このうち明治20(1887)年に再興された銅版転写の製品は3次窯から出現している。ということはこの3次窯が明治20年を含む年代に創業されたということであり、その前に創業していた2次窯は明治10年代を含む年代が考えられよう。さらに酸化クロムに関しては、明治8(1875)年に瀬戸村の加藤友太郎が指導を受けており、また、21にみられた

「白盛」という技法は、明治8・9(1875・76)年頃に瀬戸村の加藤五郎が創出したとされている。ただこうしたことが直ちに商品化されたのかはわからない。というのは、明治7(1874)年から加藤友太郎は東京に所在しており、様々な業績を残して大正5(1916)年、66歳で没している(加藤陶九郎編1972)。東京の友太郎がいつ、どういった経路で瀬戸へクロム青磁を伝えたかはまだ判明していないのである。したがってクロム青磁の製品化の初現もはっきりしない。よって本報告では、推定として1880年代から量産化されたとみなしておく。32・33は筒型容器で器形は非常によく似ているが、32は磁器、33は陶器である。33は底裏に墨書がみられる。「十一銭」と読むのであろうか。34は型紙絵付で菊の文様が描かれた製品である。内面無釉で、底部に穿孔はみられない。また口縁部が欠損しているため器高は不明で、器種が断定できず「火入れ?」とした。地下室2から出土した47の湯呑み碗は、底裏に「九谷」の銘がみられることから、九谷で生産された製品と思われる。49の型押線刻文小皿は内面見込みに「壽」の字が陰刻されているもので、1855年から1860年に生産されたものである。

次に溝一括からの出土遺物は、ガラス製品の瓶や陶器のタイル等近代の遺物もみられ後世の遺物が混在した可能性が考えられるが、各溝からは近世以前の製品が出土している。溝6から出土した陶磁器59~62および未掲載の蕎麦猪口・瓦は、いずれも近世の遺物である。62は飯能の製品で外面には飛ガンナがみられイチンで文様が描かれる。内面には飴釉が施釉されている。(伊藤末子・梶原 勝)

瓦 図示はしていないが、80点出土している。ほとんど近代以降の瓦と考えられるが、江戸式の文様を有する軒棧瓦などがある。

金属遺物 66点出土しているが、図示したのは37の真鍮製品である。この製品は図の下方がもともと接着していたと考えられ、1mmほどの細長い隙間を利用する製品であろう。そのほか和釘・刃子・包丁・鎌・把手などがあり、銭貨では新寛永通寶・文久永寶・鉄銭が出土している。(梶原 勝)

第5表 中沢前遺跡第20地点 出土遺物集計表

出土地点	種別	数	器種	数	細分名	数
落し穴1	縄文土器	3	深鉢	3	阿玉台Ⅰ式	1
					加曾利EⅠ～Ⅱ式	2
	礫	1				
	合計	4				
地下室1	磁器	57	碗	16	三角高台碗	1
					丸碗	1
					厚手碗	5
					稚児茶碗	1
					小碗	1
					端反碗(瀬・美)	2
					湯呑み碗	2
					銅版絵付碗	1
					ゴム版絵付碗	2
			碗蓋	2		
			小坏	21		
			皿	9	厚手U字高台皿	1
					染付輪壳皿	2
					染付皿	2
					銅版絵付皿	1
					コバルト染付皿	1
					型紙絵付皿	1
					ゴム版絵付皿	1
			小皿	1	吹掛	
			鉢	1	丸鉢	2
			燗德利	1		
			急須	1		
			合子蓋	1		
			火入れ?	1		
			香炉	1		
			植木鉢	1		
			筒形容器	1		
	陶器	25	碗	3	天目茶碗	1
					灰釉丸碗	1
					色絵半球碗	1
			小坏	1		
			皿	2	灰釉丸皿	1
					不明	1
			小鉢	1		
			鉢	1	三島手鉢	
			片口鉢	2		
			土瓶	3	コバルト染付	1
					土瓶	2
			土瓶蓋	1	三彩土瓶蓋	
			德利	3	灰釉德利	2
					胎釉德利	1
			播鉢	1	堺	
			大甕	1		
			甕	2		
			燈火皿	1	瀬戸・美濃	
			灰落し	1		
			植木鉢	1		
			筒形容器	1		
	土器	22	焙烙	6	土師質	4
					瓦質	2
			箱火鉢	1		
			火鉢	3	土師質	2
					瓦質	1
			七輪	1		
			秉燭	1		
			植木鉢	8	土師質	2
					瓦質	6
			不明	2		
	瓦	61	丸瓦	4		
			鬼瓦	1		
			棧瓦	42		
			軒棧瓦	4		
			軒先瓦	7		
			袖瓦	2		
			不明	1		
	磁製品	1	人形足?	1		
	土製品	2	芥子面	1		
			箱庭具	1		
	石製品	6	砥石	3		
			硯	2		
			カマド構築材	1		
	金属遺物	53	和釘	16		
			釘	14		
			刀子	4		
			鎌	1		
			把手	2		
			包丁	1		
			銅線	3		
			銭貨	6	寛永通宝	4
					文久永宝	1
					鉄銭	1

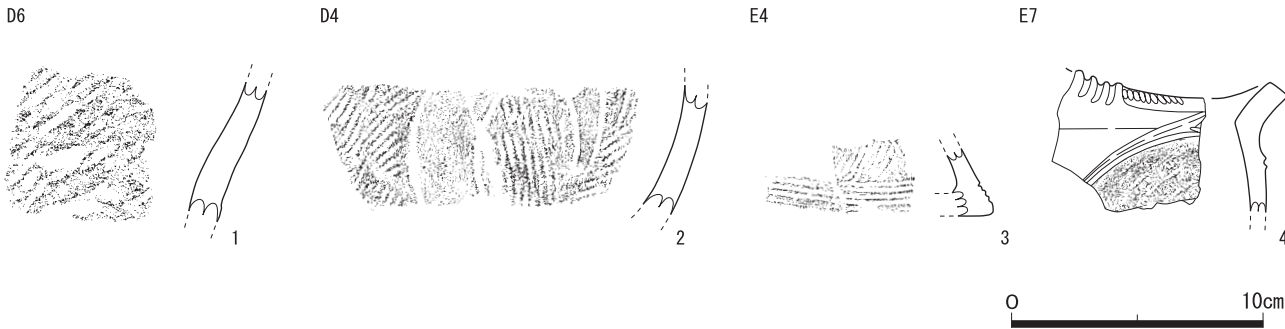
出土地点	種別	数	器種	数	細分名	数
地下室1	金属遺物	38	不明	6		
			アンブル	1		
			板ガラス	12		
			簪(筭)	1		
			電笠	1		
			瓶	17	薬瓶	8
					化粧瓶	1
					ボマード瓶	1
					インク瓶	1
					飲料瓶	2
					酒瓶	1
					食品瓶	1
					調味料瓶	1
					不明	1
			瓶蓋	1	化粧瓶蓋	
			ランプ	2	ホヤ	
			レンズ	1	凸レンズ	
			不明	2		
	木製品	※	不明	※		
	漆喰	※				
	動物遺体	※	貝	※		
	須恵器	3	甕	1		
			坏	2		
	縄文土器	9	深鉢	9	前期前半	1
					加曾利EⅠ～Ⅱ式	1
					曾利式系統	2
					中期後半～後期	3
					不明	2
	石器	1	ナイフ形石器	1		
	礫	8				
	合計	286				
地下室2	磁器	12	碗	5	厚手小碗	1
					銅版絵付碗	1
					うがい茶碗?	1
					湯呑み碗	2
			皿	2	青磁輪壳皿	1
					近代皿	1
			小皿	3	壽文皿	1
					小皿	2
			筆洗	1		
			戸車	1		
	土器	1	植木鉢	1		
	金属遺物	2	釘	1		
			水筒	1		
	ガラス製品	7	瓶	5	化粧クリーム瓶	1
					薬瓶	1
					インク瓶	3
			石けり	2		
	合計	22				
土坑1	瓦	3	棧瓦	3		
	漆喰	※				
	合計	3				
土坑4	縄文土器	4	深鉢	4	加曾利EⅣ式	1
					中期後半～後期	3
	石器	1	RF	1		
	礫	5				
	合計	10				
土坑5	縄文土器	3	深鉢	3	中期後半～後期	1
					不明	2
	石器	1	有舌尖頭器	1		
	礫	7				
	合計	11				
土坑6	縄文土器	1	深鉢	1	早期後半	
	礫	1				
	合計	2				
溝2	磁器	2	蓋物蓋	1		
			鉢	1		
	土器	1	焜炉	1		
	瓦	1	不明	1		
	縄文土器	1	深鉢	1	前期前半	
	礫	4				
	合計	9				
溝3	礫	2				
	合計	2				
溝4	金属遺物	1	銭貨	1	寛永通宝	
	合計	1				
溝5	磁器	1	皿	1	厚手U字高台皿	
	土器	1	焙烙	1		
	瓦	4	平瓦	3		
			不明	1		
	合計	6				

出土地点	種別	数	器種	数	細分名	数
溝6	磁器	3	碗	2	筒茶碗	1
			蕎麦猪口	1	広東碗	1
	陶器	1	行平鍋蓋	1		
	土器	1	植木鉢	1		
	瓦	3	棧瓦	1		
			軒棧瓦	1		
			平瓦?	1		
	金属遺物	1	鎌	1		
	動物遺体	※	骨	※	不明	
	礫	3				
	合計	12				
溝7	磁器	1	碗	1	筒茶碗	
	合計	1				
溝12	礫	1				
	合計	1				
溝15	陶器	1	碗	1	灰軸端反碗	
	瓦	1	転用砥	1		
	縄文土器	1	深鉢	1	加曾利E式	
	礫	3				
	合計	6				
溝30	陶器	1	徳利	1	飴釉一升徳利	
	合計	1				
溝31	土器	1	焙烙	1	瓦質	
	縄文土器	1	深鉢	1	早期後半	
	合計	2				
溝33	金属遺物	1	和釘	1	皆折釘	
	合計	1				
溝34	金属遺物	1	和釘	1	折釘	
	縄文土器	2	深鉢	2	前期前半	
	合計	3				
溝39	陶器	1	擂鉢	1	丹波	
	礫	1				
	合計	2				
溝一括	陶器	3	燈火皿	1		
			タイル	2		
	土器	1	不明	1		
	瓦	1	棧瓦	1		
	金属遺物	1	和釘	1		
	ガラス製品	1	瓶	1		
	土師器?	1				
	須恵器	1	甕	1		
	縄文土器	3	深鉢	3	前期前半	1
					加曾利EIV式	2
	礫	2				
	合計	14				
P5	縄文土器	1	深鉢	1	前期前半	
	合計	1				
P17	礫	1				
	合計	1				
P19	陶器	1	碗	1	天目茶碗	
	土器	1	不明	1		
	礫	2				
	合計	4				
P35	縄文土器	1	深鉢	1	前期前半	
	礫	1				
	合計	2				
P62	礫	1				
	合計	1				
P69	礫	2				
	合計	2				
P83	金属遺物	1	不明	1		
	礫	2				
	合計	3				
P104	縄文土器	1	深鉢	1	早期後半	
	合計	1				
P105	土器	1	不明	1		
	礫	1				
	合計	2				
A4	礫	5				
	合計	5				
B6	瓦	1				
	縄文土器	1	深鉢	1	加曾利EIV式	
	礫	2				
	合計	4				
C4	礫	2				
	合計	2				

出土地点	種別	数	器種	数	細分名	数
C5	縄文土器	1	深鉢	1	前期前半	
	礫	3				
	合計	4				
C6	縄文土器	1	深鉢	1	中期後半～後期	
	礫	1				
	合計	2				
D3	縄文土器	2	不明	2	不明	
	礫	4				
	合計	6				
D4	陶器	1	碗	1	天目茶碗	
	瓦	1				
	縄文土器	6	深鉢	6	前期前半	1
					勝坂1式	1
					加曾利EIV式	3
	礫	7			中期後半～後期	1
	合計	15				
D5	縄文土器	1	深鉢	1	前期前半	
	礫	2				
	合計	3				
D6	縄文土器	5	深鉢	5	前期前半	3
	礫	3			中期後半～後期	2
	合計	8				
D7	縄文土器	3	深鉢	3	前期前半	2
					不明	1
	合計	3				
E3	礫	12				
	合計	12				
E4	縄文土器	3	深鉢	3	前期前半	1
					後期	1
					不明	1
	礫	14				
	合計	17				
E5	縄文土器	1	深鉢	1	後期（粗製土器）	
	土師器	1				
	礫	10				
	合計	12				
E6	縄文土器	24	深鉢	24	前期前半	18
					中期後半～後期	6
	土師器	2	甕	2		
	礫	3				
	合計	29				
E7	縄文土器	7	深鉢	7	前期前半	3
					加曾利E式	1
					安行1式	1
	礫	1			不明	2
	合計	8				
表土	磁器	1	碗	1	銅版絵付碗	
	陶器	5	皿	1	灰釉稜皿	
			土瓶	1		
			燈火皿	1		
			タイル	2		
	土器	3	カワラケ	1		
			焙烙	1	瓦質	
			不明	1		
	瓦	4	丸瓦	1		
			棧瓦	2		
			スレート瓦	1		
	石製品	1	砥石	1		
	金属遺物	5	煙管	1	雁首	
			和釘	3		
			不明	1		
	ガラス製品	1	瓶	1		
	木製品	※	不明	※		
	土師器?	1				
	須恵器	1	甕	1		
	縄文土器	25	深鉢	25	前期前半	12
					勝坂式	3
					中期後半～後期	3
	礫	6			不明	7
	動物遺体	1	骨	1	不明	
	合計	54				
総計				600		

第6表 中沢前遺跡第20地点 出土遺物観察表（1）縄文土器

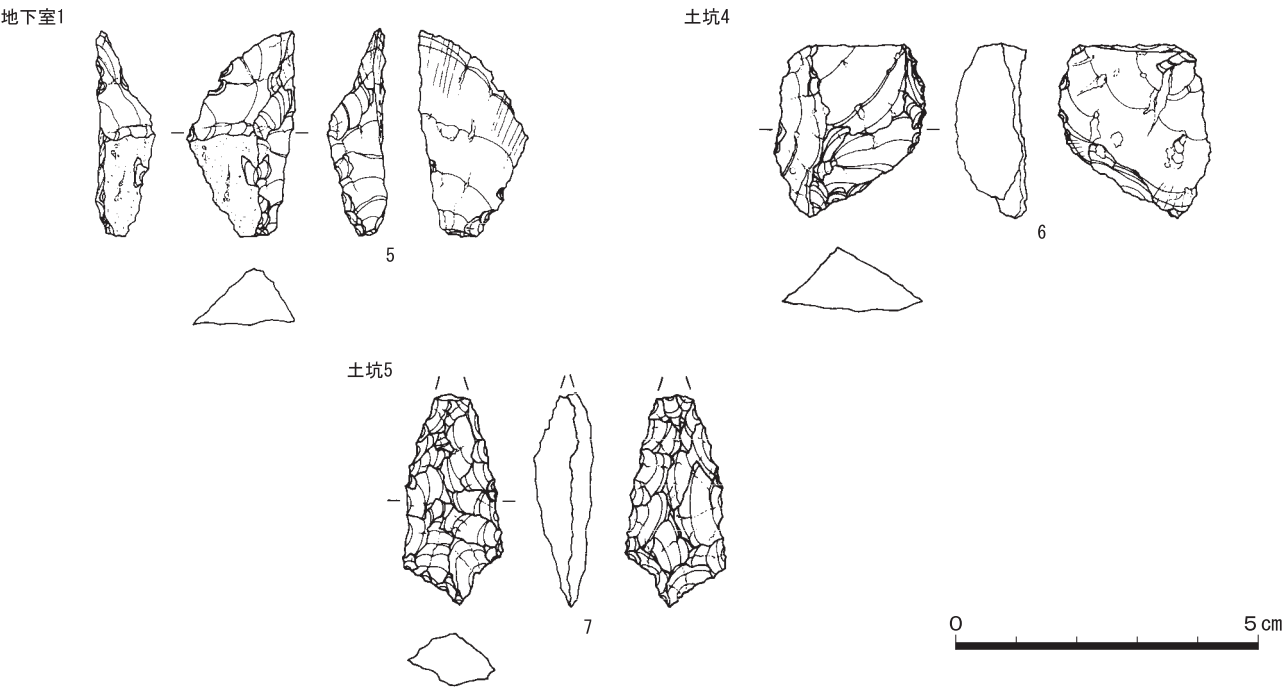
図版番号	掲載番号	出土地点	種類器種	分類	施文・成形等	色調	胎土	備考
16	1	D6	縄文土器 深鉢	関山～黒浜式	無節R縄文	暗褐色	繊維を多く含む	胴部
	2	D4	縄文土器 深鉢	加曽利EIV式	沈線により縄文帯と磨消帯が带状に区画される 区画の形状は渦巻状	黄褐色	砂粒を多く含む	胴部
	3	E4	縄文土器 深鉢	後期	細目の半截竹管による幾何学文	暗褐色	砂粒を多く含み焼成極めて良	底部
	4	E7	縄文土器 深鉢	安行1式	外側に屈曲する波状口縁 口唇に刻みが付き波頂には飾り隆帯が付く 表面は結節沈線により楕円形に区画される	暗褐色	砂粒を少量含み焼成極めて良	口縁部



第16図 出土遺物（1）縄文土器

第7表 中沢前遺跡第20地点 出土遺物観察表（2）石器

図版番号	遺物番号	出土地点	種類器種	計測値（長さ：cm、重量：g）	石材	備考
17	5	地下室1	ナイフ形石器	全長：3.4 幅：1.8 厚さ：1.0 重量：3.6	黒曜石	
	6	土坑4	RF	全長：2.9 幅：2.5 厚さ：1.2 重量：6.5	黒曜石	
	7	土坑5	有舌尖頭器	全長：<3.5> 幅：<1.7> 厚さ：<1.0> 重量：<4.4>	チャート	先端部欠損



第17図 出土遺物（2）石器

第8表 中沢前遺跡第20地点 出土遺物観察表 (3) 陶磁器・土器・他

図版 番号	掲載 番号	遺構名 出土地点	種別・器種	単位cm 推定() 残存< >			技法／文様／その他	推定生産地	推定年代	残存／備考
				口径	底径	器高				
18	8	地下室1	磁器・碗 稚児茶碗	9.4	3.2	4.0	ロクロ成形／色絵（赤・黄・青・緑）、暁付無釉、外口縁部一重圏線、体部芭蕉・花卉文、腰部二重圏線、高台一重圏線、内面口縁部一重圏線、見込み文様あり	瀬戸・美濃	1800年代以降	1/2以上
	9	地下室1	磁器・碗 端反碗	11.0	4.1	6.0	ロクロ成形／染付、暁付無釉、外面口縁部一重圏線、体部雪持笹文、腰部一重圏線、内面口縁部二重圏線、見込み一重圏線・花卉文、底裏焼継印朱書き「二十三」	瀬戸・美濃	1800年代～ 1860年代	1/2以上 焼継
	10	地下室1	磁器・碗 銅版絵付碗	(12.0)	4.4	4.9	ロクロ成形／銅版絵付、色絵（青・緑）、暁付無釉、外面菊花・丸文	不明	1890年代～ 1920年代	1/2以下
	11	地下室1	磁器・碗 ゴム版絵付碗	(8.5)	3.1	4.8	ロクロ成形／ゴム版絵付、染付、暁付無釉、外面口縁部一重圏線、体部桜花文、高台二重圏線、底裏一重圏線	不明	1920年代以降	1/2
	12	地下室1	磁器・碗 ゴム版絵付碗	(8.4)	3.1	4.5	ロクロ成形／ゴム版絵付・染付、暁付無釉、外面花卉・区画文（コバルト釉）、高台二重圏線	不明	1920年代以降	1/2
	13	地下室1	磁器・碗蓋 丸碗蓋	8.7	3.4	2.6	ロクロ成形／染付、暁付無釉、外面雲龍文	瀬戸・美濃	1800年代以降	1/2以上
	14	地下室1	磁器・小坏	(7.0)	—	<3.0>	ロクロ成形／染付、外面口縁部一重圏線、体部竹文	瀬戸・美濃	1800年代～ 1860年代	1/2以下
	15	地下室1	磁器・小坏	(6.2)	2.8	4.5	ロクロ成形／ルリ釉、染付、暁付無釉、外面ルリ釉、底裏銘あり	瀬戸・美濃	近世	1/2
	16	地下室1	磁器・小坏	(7.2)	(3.4)	4.6	ロクロ成形／染付、暁付無釉、外面口縁部一重圏線、体部花卉文、腰部二重圏線	瀬戸・美濃	1800年代～ 1860年代	1/2以下
	17	地下室1	磁器・小坏	(6.9)	(3.1)	5.0	ロクロ成形／染付・毛彫り、暁付無釉、外面鳥・花卉文	肥前	19世紀	1/2
	18	地下室1	磁器・小坏	5.6	2.2	3.1	ロクロ成形／白磁、暁付無釉	瀬戸・美濃	近世	完形
	19	地下室1	磁器・小坏	7.0	2.4	2.6	ロクロ成形／上絵付（金）、染付、暁付無釉、内面八二口堂？、外面高台櫛歯文、底裏銘あり	瀬戸・美濃	1830年代～ 1870年代	完形
	20	地下室1	磁器・小坏	(5.8)	2.2	2.6	ロクロ成形／コバルト染付、暁付無釉、内面口縁部雷文、見込み鳥文、外面高台櫛歯文、底裏銘あり	瀬戸・美濃	1830年代～ 1870年代	1/2以上
	21	地下室1	磁器・小坏	6.6	3.0	4.1	ロクロ成形／クロム青磁、暁付無釉、外面クロム青磁・イッチン「白盛」、上絵付梅樹文（金・黒・赤）	瀬戸・美濃	1880年代以降	1/2以上
	22	地下室1	磁器・小坏	(6.6)	2.6	2.8	ロクロ成形／染付、暁付無釉	瀬戸・美濃	近代	1/2以上
	23	地下室1	陶器・小坏	5.8	—	<2.2>	ロクロ成形／灰釉、外面腰部無釉	京都・信楽	近世	1/2以下
	24	地下室1	磁器・皿 染付輪壳皿	13.4	5.6	2.9	ロクロ成形、基筒底／染付、暁付無釉、内面唐草文・一重圏線、見込み蛇ノ目軸ハギ・コンニャク印判五弁花文	肥前	1720年代～ 1770年代	1/2以上
	25	地下室1	磁器・皿 染付輪壳皿	(13.4)	(6.0)	2.8	ロクロ成形、基筒底／染付、暁付無釉、内面唐草文・一重圏線、見込み蛇ノ目軸ハギ・コンニャク印判五弁花文	肥前	1720年代～ 1770年代	1/2以下
	26	地下室1	磁器・皿 型紙絵付皿	—	10.0	<2.2>	ロクロ成形、蛇ノ目凹形高台／型紙絵付、コバルト染付、内面見込み環瑠文・菊文、外面裏文様あり、腰部一重圏線	不明	1880年代～ 1900年代	1/2以下
	27	地下室1	磁器・皿 銅版絵付皿	13.4	7.4	2.6	ロクロ成形／銅版絵付、口鏤、暁付無釉、内面窓枠 欄間山水文・花卉文、見込み丸文	不明	1890年代～ 1920年代	1/2以上
	28	地下室1	陶器(軟質)・小鉢	7.2	6.0	2.7	ロクロ成形、糸切底／濃緑色釉／胎土にぶい赤褐色・緻密	不明	不明	1/2以上
	29	地下室1	陶器・片口鉢	(18.0)	—	<6.4>	ロクロ成形／鉄釉、腰部無釉	瀬戸・美濃	近世	1/2以下
	30	地下室1	陶器・土瓶	—	8.0	<2.8>	ロクロ成形／灰釉、底部無釉、底裏墨書	不明	19世紀前半	1/2以下
	31	地下室1	陶器・土瓶蓋 三彩土瓶蓋	6.8	—	2.3	ロクロ成形、摘み貼付、体部焼成前上から穿孔1／白化粧、内面無釉、外面鉄釉・緑釉による文様	不明	1840年代～	完形
	32	地下室1	磁器・筒形容器	4.8	4.6	4.1	型打成形／白釉、底部・内面口縁部以下無釉、蓋物	不明	近代	完形
	33	地下室1	陶器・筒形容器	6.7	6.4	4.9	型打成形／透明釉、外面無釉・気泡多、底裏墨書「十一銭」	不明	近代	棚瓶か、 完形
19	34	地下室1	磁器・火入れ？	—	14.6	<10.0>	ロクロ成形／型紙絵付（コバルト）、底裏・内面無釉、外面菊文、腰部蓮弁文	不明	1880年代～ 1900年代	1/2以上？
	35	地下室1	土器(施釉)・乗燭	—	4.2	<3.0>	ロクロ成形、糸切底(左)、燈芯部貼付／透明釉	江戸近郊	1770年代～ 1860年代	1/2、燈芯部 煤付着
	36	地下室1	磁器・植木鉢	(9.2)	(4.2)	7.2	ロクロ成形、高台切り込み1／内・外面口縁部・鏝部鉄釉、内面口縁部以下・底部無釉	瀬戸・美濃	近代？	1/2以下
	37	地下室1	金属遺物・真鍮製品 不明	幅 1.7	長 13.0	厚 4.0	鋳造	不明	不明	完形
	38	地下室1	ガラス製品・瓶 薬瓶	1.3	2.4	5.6	型吹き成形(割型・前後合せ)／無色・透明／目盛(×6、容量24ml)／気泡有り／コルク栓／外面虹彩		1890年代～ 1910年代	完形
	39	地下室1	ガラス製品・瓶 薬瓶	1.1	2.4	6.1	型吹き成形(割型・前後合せ)／無色・透明／目盛(×6、容量24ml)／気泡有り／コルク栓		1890年代～ 1910年代	完形
	40	地下室1	ガラス製品・瓶 薬瓶	1.7	長6.0 短3.4	14.0	型吹き成形(割型・前後合せ)／無色・透明／陽刻胴部「安田醫院」・底部「山定式」、目盛(左5・右11、容量200ml)／気泡有り／ネジ栓／断面隅丸長方形／外面虹彩		1935年～	完形
	41	地下室1	ガラス製品・瓶 ポマード瓶	(4.4)	(5.0)	4.7	型吹き成形(割型・対角線合せ)／白色・不透明／陽刻底部「メ(ヌマ)ボ(マード)」、胴部前面に裝飾柱／ネジ蓋		1918年～ (発売年)	1/2以下／井田 京栄堂(現株式 会社メヌマ)製
	42	地下室1	ガラス製品・瓶蓋 化粧瓶蓋	最大径 1.7	1.5	3.5	型吹き成形／濃青色・半透明／胴部周囲磨面、中心に窪み／共栓		1910年代～ 1920年代	完形

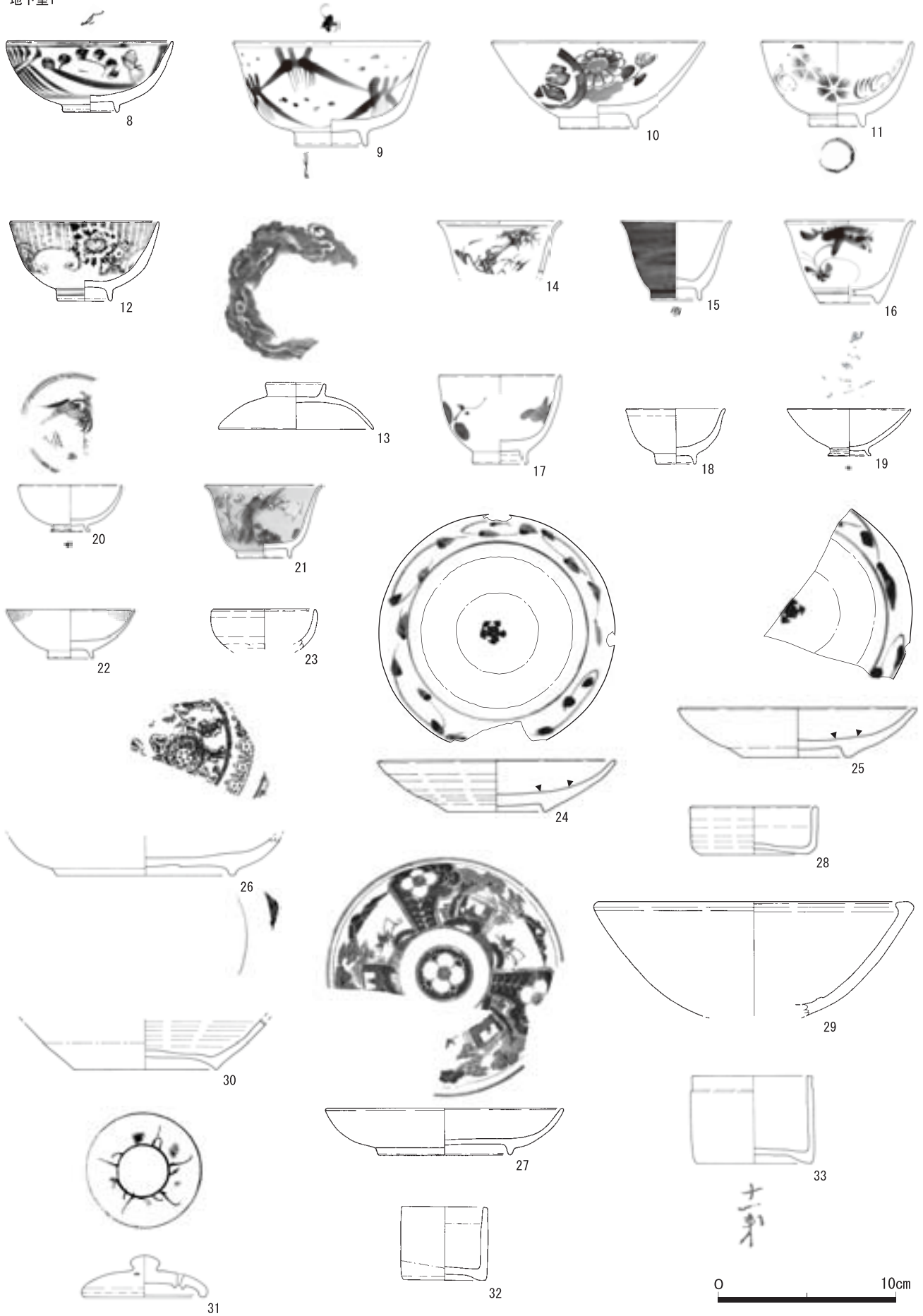
図版 番号	掲載 番号	遺構名 出土地点	種別・器種	単位cm 推定() 残存<>			技法／文様／その他	推定生産地	推定年代	残存／備考
				口径	底径	器高				
19	43	地下室1	ガラス製品・瓶 酒瓶	—	6.0	<9.3>	型吹き成形(割型・前後合せ)／青緑色・透明／陽刻 胴部下部「攝津酒造株式会社」「正味600c.c.詰」、 底部「O」		～1964年 (宝酒造株式会 社に吸収合併さ れる)	胴部下部～底部
	44	地下室1	ガラス製品・瓶 食品瓶	5.9	5.2	13.2	肩部径 7.4 型吹き成形(割型・前後合せ)／薄緑色・透 明／気泡多量／広口、金属蓋(キャップ式)		1910年代～ 1920年代	完形
	45	地下室1	ガラス製品・瓶 インク瓶	2.2	4.0	5.4	型吹き成形(割型・前後合せ)／薄緑色・透明／気泡 有り／コルク栓／頸部内部に擦痕、黒色インク残 存、外面虹彩		1910年代～ 1920年代	完形
	46	地下室1	ガラス製品・簪(筭)	長さ <3.6>	幅 <1.1>	厚さ <0.8>	手吹き成形／琥珀色・半透明／全面に金色の塗料(剥 離)／鉛ガラス		1850年代～	先端部
	47	地下室2	磁器・碗 湯呑み碗	6.2	3.0	5.7	ロクロ成形／色絵(赤・黄・白・灰・銀・緑)、疊 付無釉、外面菊花文、高台一重圈線、底裏銘「九 谷」	九谷?	近代	1/2以上
	48	地下室2	磁器・小皿 染付小皿	10.2	5.8	2.3	ロクロ型打成形、輪花／染付、口錆、疊付無釉、内 面楼閣山水文	肥前	1820年代～ 1830年代	1/2以上
	49	地下室2	磁器・小皿 型押線刻文小皿	9.8	5.0	2.0	型押成形／見込み陰刻壽文、疊付無釉	瀬戸・美濃	1855年～1860年	1/2以上
	50	地下室2	土器・植木鉢	12.4	9.0	10.1	ロクロ成形、底部焼成前穿孔(筒形工具)／胎土橙 色・やや細、赤・黒色粒子、白・黒小砂利混入		近代?	1/2以上
	51	地下室2	磁器・戸車	径 6.7	穿径 2.2	厚 1.6	型打成形／上・下面無釉		近代	完形
	52	地下室2	ガラス製品・瓶 薬瓶	1.7	長5.0 短3.0	11.4	型吹き成形(割型・前後合せ)／無色・透明／陽刻胴 部「内科・小児科・安田醫院」、目盛(×12、容量 120ml)／気泡有り／コルク栓／断面楕円形／外面虹 彩		1900年代～ 1910年代	完形
	53	地下室2	ガラス製品・瓶 化粧クリーム瓶	3.1	3.2	4.3	型吹き成形(割型・前後合せ)／白色・不透明／ネジ 蓋／断面楕円形		1920年代～ 1930年代	ほぼ完形
	54	地下室2	ガラス製品・瓶 インク瓶	1.9	4.0	5.5	型吹き成形(割型・前後合せ)／薄緑色・透明／陽刻 底部「登・M・録」／気泡有り／コルク栓／黒色イ ンク残存		1910年代	完形 丸善株式会社製
	55	地下室2	ガラス製品・瓶 インク瓶	1.9	3.8	5.1	型吹き成形(割型・口縁部～頸部前後、胴部～底部対 角線合せ)／無色・透明／陽刻底部「SIMCO」／気泡 有り／コルク栓／断面隅丸方形		1900年代～ 1910年代	完形 米国製か
	56	地下室2	ガラス製品・瓶 インク瓶	1.9	2.6	4.7	型吹き成形(割型・対角線合せ)／無色・透明／陽刻 底部「S.S.S.」／気泡有り／コルク栓／胴部前面に 意匠的なラベル用の凹み／断面8角形		1900年代～ 1910年代	完形／サンエス (細沼浅四郎)株 式会社製
	57	地下室2	ガラス製品・玩具 石けり	最大径 4.3	厚さ 1.2	—	型押し成形／緑色・半透明／型押し文様「R」／気 泡有り		1910～1930年代	完形
	58	地下室2	ガラス製品・玩具 石けり	最大径 3.8	厚さ 0.7	—	型押し成形／黄金色・半透明／型押し文様戦国機2機 ／気泡有り／外面虹彩		1910～1930年代	完形
	59	溝6	磁器・碗 筒茶碗	6.9	3.8	5.2	ロクロ成形／染付、疊付無釉、外面竹文、腰部一重 圈線、内面口縁部一重圈線、見込み一重圈線・手描 き五弁花文	肥前	1760年代～ 1810年代	1/2以上
	60	溝6	磁器・碗 広東碗	—	4.8	<3.6>	ロクロ成形／染付、疊付無釉、外面文様あり、高台 一重圈線、内面見込み一重圈線・文様あり	肥前	1780年代～ 1830年代	1/2以下
	61	溝6	磁器・蕎麦猪口	(7.2)	(5.8)	5.8	ロクロ成形、蛇ノ目凹形高台／染付、口錆、外面体 部山水文、腰部一重圈線、底部二重圈線	肥前	1780年代～ 1860年代	1/2以下
	62	溝6	陶器・行平鍋蓋	(12.6)	3.3	2.7	ロクロ成形、飛びがんな／鉛釉、イッチン、外面・ 内面口縁部無釉／胎土褐色・堅緻	飯能	1830年代～	1/2以下

ガラス製品 本地点から出土したガラス製品の総点数は47点であり、その内訳は地下室1から38点、地下室2から7点、溝(一括)から1点、表土から1点である。地下室1出土の46(簪(筭))を除き、総じて近代(明治後期～昭和初期)の所産である。図示した資料の詳細については第8表の出土遺物観察表を参照されたいが、以下に補足事項を述べる。

前述したように、地下室1からの出土がほとんどであるが、さらにその構成をみると、板ガラスの破片を除外すれば薬瓶の10点が最多である。図示した40・52の薬瓶に「安田醫院」の陽刻(エンボス)があることから、本地点と安田醫院との関係が窺える。地下室1から出土した40の底部外面には「山定式」の陽刻があるが、同じ陽刻を有する薬瓶が東京都区内の遺跡から

も出土し、報告されている(豊島区教育委員会2000)。この薬瓶の胴部に40にはない「新業登録(2) 20452」の陽刻があることから、特許庁の実用新案登録番号を照会した結果、「キャップ附薬壺」として登録されていた。出願人・考案者は東京市杉並区(現豊島区)の山崎定次郎、出願・公告年は昭和10(1935)年となっている。よって40の生産年代の上限は昭和10年である。同じ医院名の陽刻がある地下室2出土の52はコルクで栓をするよくみられるタイプの薬瓶だが、40は口縁部～頸部にネジ山と錨状の突起を有し、肩部が平面を成す独特の形をしている。地下室1出土の43(簪(筭))については、鉛ガラスであることから生産年代の上限を1850年代としたが、明治期の製品、あるいは伝世品の可能性もあることを指摘しておきたい。(前山由美子)

地下室1

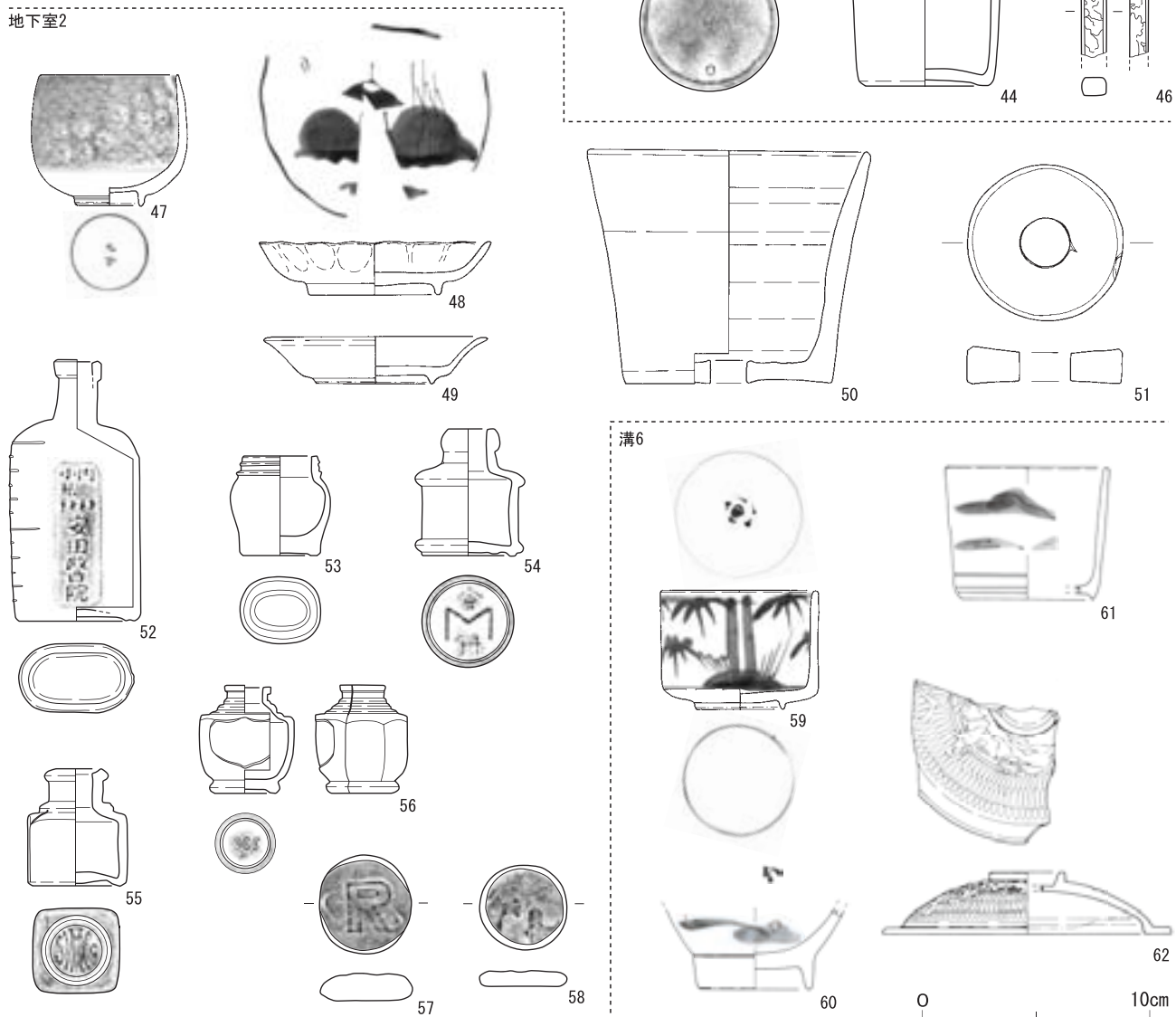


第18図 出土遺物 (3) 陶磁器・土器・他 (1)

地下室1



地下室2



第19図 出土遺物(4) 陶磁器・土器・他(2)



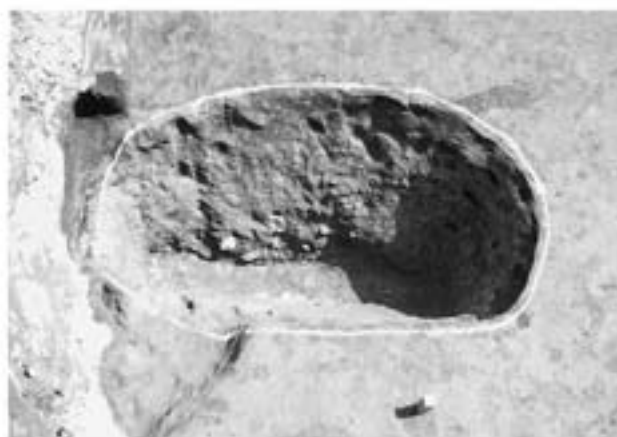
中沢前遺跡第20地点調査区北側（西から）



中沢前遺跡第20地点調査区南側（北から）



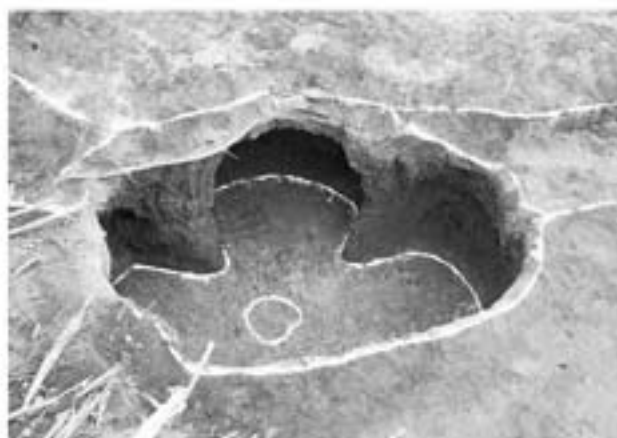
中沢前遺跡第20地点 旧石器出土状況



中沢前遺跡第20地点 落し穴 1



中沢前遺跡第20地点 集石 1



中沢前遺跡第20地点 地下室 1（北から）



中沢前遺跡第20地点 地下室 1（南から）



中沢前遺跡第20地点 地下室 1・室 1



中沢前遺跡第20地点 地下室 2



中沢前遺跡第20地点 地下室 2・室 2



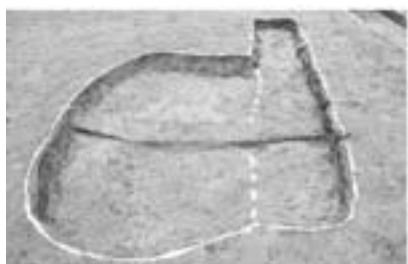
中沢前遺跡第20地点 土坑 1



中沢前遺跡第20地点 土坑 2



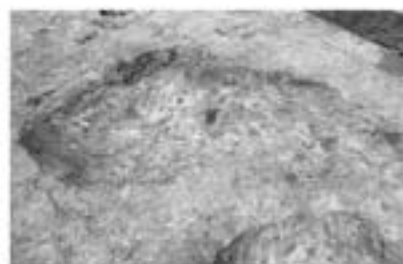
中沢前遺跡第20地点 土坑 4



中沢前遺跡第20地点 土坑 5・溝状遺構 13



中沢前遺跡第20地点 土坑 6 P 36・37



中沢前遺跡第20地点 土坑 7



中沢前遺跡第20地点 溝 2・3・4



中沢前遺跡第20地点 溝 2・3・8・41



中沢前遺跡第20地点 溝 2・3・4



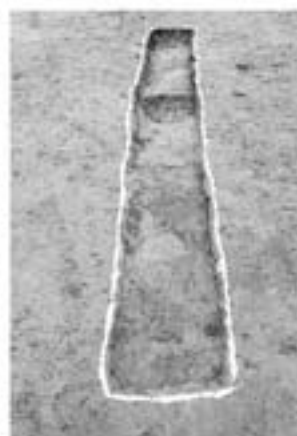
中沢前遺跡第20地点 溝4・溝状遺構5・6



中沢前遺跡第20地点 溝状遺構6 階段



溝状遺構10・11



溝状遺構12



中沢前遺跡第20地点 溝状遺構31~34・38・39



中沢前遺跡第20地点 溝状遺構27~31



中沢前遺跡第20地点 溝状遺構24~31・38



中沢前遺跡第20地点 溝状遺構19~26



中沢前遺跡第20地点 溝状遺構16~21



溝状遺構14・15



溝状遺構37



溝状遺構38



溝状遺構39



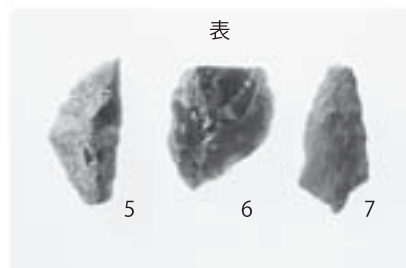
柵列 1



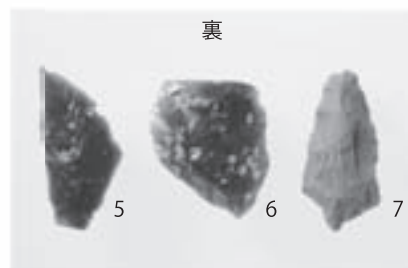
柵列 2



中沢前遺跡第20地点 縄文土器



表



裏

中沢前遺跡第20地点 石器



中沢前遺跡第20地点 地下室 1 出土遺物



中沢前遺跡第20地点 地下室 1 出土遺物



中沢前遺跡第20地点 地下室 2 出土遺物



中沢前遺跡第20地点 溝状遺構 6 出土遺物